

2017 年度

# 歯学部研究年報



明海大学

MEIKAI UNIVERSITY

# 目 次

	頁
形態機能成育学講座	
解剖学分野	1
口腔解剖学分野	4
生理学分野	6
口腔小児科学分野	8
歯科矯正学分野	11
口腔生物再生医工学講座	
生化学分野	16
微生物学分野	19
歯周病学分野	20
基礎生物学分野	25
基礎化学分野	26
機能保存回復学講座	
歯科生体材料学分野	27
歯科補綴学分野(有床義歯)	29
歯科補綴学分野(クラウン・ブリッジ)	31
保存治療学分野	35
オーラル・リハビリテーション学分野	39
摂食嚥下リハビリテーション学分野	42
病態診断治療学講座	
病理学分野	45
薬理学分野	47
総合臨床歯科学分野	50
歯科放射線学分野	52
口腔顎顔面外科学分野(Ⅰ)	54
口腔顎顔面外科学分野(Ⅱ)	58
高齢者歯科学分野	62
歯科麻酔学分野	65
歯科法医学分野	68
社会健康科学講座	
口腔衛生学分野	71
障がい者歯科学分野	74
医療情報科学分野	77
基礎数学・統計学分野	78
総合臨床医学講座	
内科学分野	79
明海大学歯科医学総合研究所	
M-RIO (Meikai University Research Institute of Odontology)	80

# 形態機能成育学講座

解剖学分野

口腔解剖学分野

生理学分野

口腔小児科学分野

歯科矯正学分野

# 解剖学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 天野 修: 内臓学総論. In: 口腔解剖学. 前田健康, 天野 修, 阿部伸一 編, 第2版, 医歯薬出版, 東京, pp85-88, 2018. 2
- 2) 天野 修: 唾液腺. In: 口腔解剖学. 前田健康, 天野 修, 阿部伸一 編, 第2版, 医歯薬出版, 東京, pp178-184, 2018. 2
- 3) 崎山浩司, 天野 修: 止血と脈拍. In: 口腔解剖学. 前田健康, 天野 修, 阿部伸一 編, 第2版, 医歯薬出版, 東京, pp259-263, 2018. 2

【(1)～(3) は同一書籍の分担執筆】

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Yamamoto M, Kojyo U, Yanagisawa N, Mitomo K, Takayama T, Sakiyama K, Abe S: Morphology and relationships of the biceps brachii and brachialis with the musculocutaneous nerve. *Surg Radiol Anat*, 40(3), 303-311, 2018. 3
- 2) Bando Y, Yamamoto M, Sakiyama K, Sakashita H, Taira F, Miyake G, Iseki S, Owada Y, Amano O: Retinoic acid regulates cell-shape and -death of E-FABP (FABP5)-immunoreactive septoclasts in the growth plate cartilage of mice. *Histochem Cell Biol*, 148(3), 229-238, 2017. 9

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (2) シンポジウム

- 1) 天野 修, 坂下 英, 坂東康彦, 崎山浩司: メッケル軟骨の発生・消失から考える顔面発生. 第123回日本解剖学会総会・全国学術集会, 武蔵野市. 2018. 3
- 2) 崎山浩司, 瀧澤将太, 小峰雄介, 小笠原悠大, 坂東康彦, 天野 修: High mobility group box 1 (HMGB1) が舌癌周囲筋線維に与える影響とその意義. 第59回歯科基礎医学会学術大会, 塩尻市. 2017. 9

#### (3) 一般演題

- 1) 崎山浩司, 小笠原悠大, 坂東康彦, 坂下 英, 平良芙蓉子, 三宅言輝, 天野 修: High mobility group box 1 (HMGB1)と筋の再生との関係. 第123回日本解剖学会総会・全国学術集会, 武蔵野市. 2018. 3
- 2) 坂東康彦, 坂下 英, 崎山浩司, 大和田祐二, 天野 修: FABP-5-KO マウスに

- における septoclast の形態変化と PPAR サブタイプの局在. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 武蔵野市. 2018. 3
- 3) 坂下 英, 坂東康彦, 崎山浩司, 坂下英明, 天野 修: メッケル軟骨消失過程におけるセプトクラストの分布と形態の時間的变化. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 武蔵野市. 2018. 3
  - 4) 平良芙蓉子, 川邊好弘, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: ラットエブネル腺筋上皮細胞の三次元的形態と分布. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 武蔵野市. 2018. 3
  - 5) 三宅言輝, 平良芙蓉子, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: ラット舌下腺におけるアディポネクチンと受容体の局在と糖尿病の影響. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 武蔵野市. 2018. 3
  - 6) 坂下 英, 坂東康彦, 崎山浩司, 坂下英明, 天野 修: マウス胎児 Meckel 軟骨における低酸素誘導因子 (HIF-1  $\alpha$ ) の局在と低酸素器官培養の影響. 第 53 回日本口腔組織培養学会学術大会, 金沢市, 2017. 11
  - 7) 天野 修: ゲーテの顎間骨について. 第 45 回日本歯科医史学会学術大会, 東京都, 2017. 9
  - 8) 坂東康彦, 坂下 英, 崎山浩司, 天野 修: マウス脛骨の発生における septoclast の由来と分化. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 塩尻市. 2017. 9
  - 9) 坂下 英, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: マウス Meckel 軟骨における低酸素・オートファジー関連因子の局在と低酸素培養の影響. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 塩尻市. 2017. 9
  - 10) 平良芙蓉子, 川邊好弘, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: 亜鉛欠乏ラットにおけるエブネル腺の変化. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 塩尻市. 2017. 9
  - 11) 三宅言輝, 平良芙蓉子, 小笠原悠大, 坂東康彦, 崎山 浩司, 天野 修: ラット舌下腺におけるアディポネクチンの局在と糖尿病の影響. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 塩尻市. 2017. 9
  - 12) 崎山浩司, 坂東康彦, 坂下 英, 平良芙蓉子, 三宅言輝, 小笠原悠大, 天野 修: 口底部に分布する血管と顎舌骨筋の関係. 第 41 回峠の会形態学セミナー, 那須町. 2017. 7
  - 13) 坂東康彦, 坂下 英, 崎山浩司, 大和田祐二, 天野 修: FABP5 ノックアウトマウスの septoclast における PPAR サブタイプの局在. 第 41 回峠の会形態学セミナー, 那須町. 2017. 7
  - 14) 坂下 英, 坂東康彦, 崎山浩司, 大和田祐二, 天野 修: マウスメッケル軟骨における低酸素誘導因子の発現と低酸素下での変化. 第 41 回峠の会形態学セミナー, 那須町. 2017. 7
  - 15) 平良芙蓉子, 坂東 康彦, 崎山浩司, 天野 修: Myoepithelium of von Ebner gland of

rats. 第 41 回峠の会形態学セミナー, 那須町. 2017. 7

- 16) 三宅言輝, 平良芙蓉子, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: ラット舌下腺におけるアディポネクチンと受容体の局在と糖尿病ラットでの変化. 第 41 回峠の会形態学セミナー, 那須町. 2017. 7

### 3. 地方会

#### (2) シンポジウム

- 1) 天野 修, 坂下 英, 坂東康彦, 崎山浩司: メッケル軟骨の発生・消失の機構と意義. 日本解剖学会第 27 回関東支部懇話会, 東京都. 2017. 7

### E. その他の研究会、講演など

- 1) 崎山浩司: インプラント治療に必要な解剖学. 歯科医師生涯研修 (インプラントベーシックプログラム 10 日間コース, 浦安市. 2017. 10

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)

- 1) 天野 修: 鰓弓軟骨の発生, 成長, 消失, 骨化における低酸素環境と脂肪酸による調節機構の解明 17K11626
- 2) 坂東康彦: 単核軟骨吸収細胞 septoclast における脂肪酸・レチノイン酸代謝の意義 16K11457

## 口腔解剖学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Ohyama Y, Ito J, Kitano VJ, Shimada J and Hakeda Y : The polymethoxy flavonoid sudachitin suppresses inflammatory bone destruction by directly inhibiting osteoclastogenesis due to reduced ROS production and MAPK activation in osteoclast precursors. PLoS One. 13(1), e0191192, 2018. doi: 10.1371/journal.pone.0191192. eCollection 2018.

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (2) シンポジウム

- 1) 須田立雄, 小澤英浩, 久米川正好 : オーガナイザー 宇田川信之, 網塚憲生, 羽毛田慈之 : 骨代謝研究の源流を語る. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 松本, 2017, 9 月 16 日~18 日

##### (3) 一般演題

- 1) 玄峰俊, 矢野文子, 牧井勇磨, 森芳史, 河田学, 田中栄, 齋藤琢. Wnt/ $\beta$  - catenin シグナルは関節軟骨最表層の維持に必須である, 第 31 回日本軟骨代謝学会、愛知, 2018, 3
- 2) 玄峰俊, 矢野文子, 牧井勇磨, 森芳史, 河田学, 田中栄, 齋藤琢.  $\beta$  - catenin シグナルは関節軟骨最表層の維持に必須である, 第 32 回日本整形外科学会基礎学術集会、沖縄, 2017, 10
- 3) 玄峰俊, 矢野文子, 牧井勇磨, 森芳史, 河田学, 田中栄, 齋藤琢.  $\beta$ -catenin シグナルは関節軟骨最表層の維持に必須である, 第 35 回日本骨代謝学会学術集会、福岡, 2017, 7
- 4) 牧井勇磨, 矢野文子, 岡田慶太, 森芳史, 河田学, 田中栄, 齋藤琢. 関節軟骨最表層に発現する転写因子 HIF-2a は、関節軟骨の維持に不可欠である, 第 35 回日本骨代謝学会学術集会、福岡, 2017, 7
- 5) 牧井勇磨, 矢野文子, 岡田慶太, 森芳史, 河田学, 田中栄, 齋藤琢. 関節軟骨最表層に発現する転写因子 HIF-2 $\alpha$  は、関節軟骨の維持に不可欠である, 第 32 回日本整形外科学会基礎学術集会、沖縄, 2017, 10

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 羽毛田 慈之 沢村 達也, 伊東 順太, 小笠原 徹, 岡安 麻里, 森 芳史 : 炎症性骨疾患への LOX-1 の寄与とその分子機構の全容解明そして創薬へのアプローチ. 科学研究費補助金 基盤研究(B). 研究実績報告書, 2017,6
- 2) 小笠原 徹, 森 良之, 緒方 直史, 筑田 博隆, 羽毛田 慈之, 茂呂 徹, 阿部 雅修, 藤原 夕子 : Cdk6 が制御する microRNA の探索による骨代謝機構の解明と再生医療への応用. 科学研究費補助金 基盤研究(B). 研究実績報告書, 2017,6
- 3) 森芳史 : 変形性関節症治療への応用を目指した S100a1 の関節軟骨保護作用の検討, 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援 研究成果報告書, 2017,6

## 2. その他の公的機関等からの助成金

- 1) 森芳史 : 関節軟骨における層を限局した遺伝子操作技術の確立, 中富健康科学振興財団 第 28 回 研究助成金 研究成果報告書, 2017,5



## 生理学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Minoda A, Mizoguchi N, Kobayashi M, Suda N, Muramoto K, Intracortical signal processing of the periodontal ligament sensations in rat, *Neuroscience*. 355: 212-224, 2017.5

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

##### (3) 一般演題

- 1) Mizoguchi N, Minoda A, Suda N, Muramoto K, Intracortical signal processing of periodontal ligament sensations in rat by *in vivo* optical imaging study, 47<sup>th</sup> Annual Meeting of Society for Neuroscience (Neuroscience 2017), Washington, DC, USA, 2017.11

#### 2. 全国学会

##### (2) シンポジウム

- 1) 柿沼由彦, 及川詩乃, 甲斐裕子, 大畠久幸, 眞野あすか, 溝口尚子, 洲鎌秀永, 根本崇宏, 鈴木健治, 村本和世, 金田誠, 非神経性心臓コリン作動系は迷走神経を介してストレス抵抗性を亢進させる (Non-neuronal cardiac cholinergic system induces central anti-stress responses), 第94回日本生理学会大会(シンポジウム), 浜松市(静岡県), 2017.3

##### (3) 一般演題

- 1) Kakinuma Y, Oikawa S, Kai Y, Tsuda M, Ohata H, Mano A, Mizoguchi N, Sugama S, Nemoto T, Suzuki K, Kurabayashi A, Muramoto K, Kaneda M, A stress-refractory propensity in the CNS is provided by augmented non-neuronal cardiac cholinergic system via the vagus nerve to acquire, 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢市(石川県), 2017.3
- 2) 溝口尚子, 箕田碧, 須田直人, 村本和世, ラット歯根膜領域電気刺激に対する体性感覚野および島皮質口腔領域の応答特性 (Characteristics of the elicited responses of rat somatosensory and insular cortices by electrical stimulation to periodontal ligament), 第94回日本生理学会大会, 浜松市(静岡県), 2017.3

### F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 挑戦的萌芽研究：村本和世（代表），脂味の受容と脂質摂取調節における唾液リパーゼの役割（平成27年度～平成29年度）
- 2) 基盤研究（C）：溝口尚子（代表），食べる意欲に欠かせない風味認識の中樞神経機構の解明（平成29年度～平成31年度）

# 口腔小児科学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 星野倫範、藤原 卓,小児歯科学 口腔管理、健康教育、口腔保健 第17章小児の口腔保健,医歯薬出版株式会社、第5版、pp. 338- 349, 2017, 12

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) "Kondo Y, Nishimata H, Hidaka K, Hasuwa T, Moriuchi H, Fujiwara T, Hoshino T.", Draft Genome Sequence of a Clinical Isolate of Streptococcus mutans Strain HM., "Genome Announcement, 5(33):e00826-17", 2017, 8
- 2) "Kurihara H, Kataumi T, Tanase K, Eda K, Ikeda H, Ogihara T, Watanabe K and Watanabe S", Mineral transfer between enamel and artificial saliva, "Dent Oral Craniofac Res, 3, 1-4", 2017, 4
- 3) Ryo Suzuki, Syoji Takahashi, Naoko Ohhata, Hidefumi Ikeda, Daigo Komazawa, Tomonori Hoshino and Shigeru Watanabe, The Influence of Ankyloglossia on Masticatory Function, Oral Health and Masticatory, vol 1(1), 1-4, 2017, 12
- 4) 鈴木 亮, 中村徳三, 渡辺泰平, 三木崇裕, 大場英和, 小口寛子, 駒澤大悟, 渡部 茂, 舌小帯短縮症の構音障害と咀嚼障害に関する研究, 明海歯科医学, 46 巻 2 号 Page91-98, 2017, 9

### 2. 総説

- 1) "Watanabe S, Watanabe K", Invitation to Remineralization Treatment Therapy, Dent Oral Craniofac Res; 2017:3(6), 2017, 4
- 2) "Kurihara H, Kataumi T, Tanase K, Eda K, Ikeda H, Ogihara T, Watanabe K, Watanabe S", "Mineral Transfer between Enamel and Artificial Saliva.", Dent Oral Craniofac Res; 2017:3(3), 2017, 4
- 3) "Watanabe K, Watanabe S, Maki K", Parameters of Evaluating Oral Condition from the Viewpoint of Demineralization, Dent Oral Craniofac Res; 2017:3(4), 2017, 4
- 4) "Suse K, Tanase K, Eda k, Kataumi T, Miki T, Nakamura A, Watanabe K, Watanabe S", Salivary Clearance of Acid and the pH in the different regions of the mouth, Dent Oral Craniofac Res; 2017:3(5), 2017, 4

### 3. 症例報告

- 1) 佐野哲文, 村本知歌子, 佐野裕子, 嶋田 淳, 佐野正之, 渡部 茂, 上顎前歯部埋伏過剰歯の口蓋側セメント・エナメル境部に吸収を認めた 1 例, 小児歯科学雑誌, 55 巻 2 号 Page253, 2017, 4

#### D. 学会発表

##### 2. 全国学会

###### (1) 宿題委託研究報告

- 1) 渡部 茂: 反芻を有する障害者への歯科的対応法の確立, 第 34 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 福岡, 2017 年 10 月

###### (3) 一般演題

- 1) 渡辺幸嗣, 雀部貴志, 中村昭博, 三木宗裕, 棚瀬康介, 江田康輔, 池田英史, 大畑直子: 歯科健診における初期脱灰病変および歯垢付着状況の新たな評価法, 第 55 回日本小児歯科学会大会, 福岡, 2017 年 5 月
- 2) 大畑直子, 中村昭博, 巢瀬賢一, 中村徳三, 渡辺泰平, 棚瀬康介, 渡辺幸嗣, 小野義晃, 渡部 茂: 子供の歯ブラシによる事故調査, 第 55 回日本小児歯科学会大会, 福岡, 2017 年 5 月
- 3) 吉田美香子, 巢瀬賢一, 渡辺幸嗣: 多数歯先天性欠如を伴う甲状腺機能低下症患者の 1 例, 第 34 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 福岡, 2017 年 10 月
- 4) 大場英和, 三木宗裕, 棚瀬康介, 大畑直子, 中村昭博, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 反芻を有する障害者の実態調査, 第 34 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 福岡, 2017 年 10 月
- 5) 荻原 孝, 舌小帯切除術への炭酸ガスレーザーの応用, 日本レーザー歯学会第 3 回症例報告会, 東京, 2018, 1
- 6) 駒澤大悟, 異なる固定法および骨切り術の有無における急速拡大時の変位解析デジタル画像関連法を用いて, 明海歯科医学会, 埼玉, 2017 年 6 月
- 7) 浅香有希子, 渡部 茂, 佐野正之, 齲蝕と生活習慣に関する疫学的研究, 第 55 回日本小児歯科学会大会, 福岡, 2017 年 5 月

##### 3. 地方会

###### (3) 一般演題

- 1) 吉田美香子, 荻原 孝, 駒澤大悟, 渡辺幸嗣: 新入医局員の教育—特に小児への対応について—, 日本小児歯科学会関東地方会第 32 回大会, 千葉, 2017 年 10 月
- 2) 大畑直子, 中村昭博, 江田康輔, 池田英史, 棚瀬康介, 吉田美香子, 渡辺幸嗣: 交通外傷による乳歯多数歯早期喪失に対し咬合誘導を行った 1 例, 日本小児歯科学会関東地方会第 32 回大会, 千葉, 2017 年 10 月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 駒澤大悟, スペシャルニーズのある子どもの地域ケア研修会～多職種連携で支える地域での暮らし～, NPO 法人ふわり, 東京, 田町, 2017 年 7 月

# 歯科矯正学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Shinagawa-Ohama R, Mochizuki M, Tamaki Y, Suda N, Nakahara T. Heterogeneous Human Periodontal Ligament-Committed Progenitor and Stem Cell Populations Exhibit a Unique Cementogenic Property under In Vitro and In Vivo Conditions. *Stem Cells Dev*, 26(9): 632-645, 2017.05
- 2) Minoda A, Mizoguchi N, Kobayashi M, Suda N, Muramoto K. Intracortical signal processing of periodontal ligament sensations in rat. *Neuroscience*, 355:212-224, 2017.07
- 3) Sasaki A, Hasegawa N, Adachi K, Sakagami H, Suda N. Orthodontic treatment induced temporal alteration of jaw-opening reflex excitability. *Journal of Neurophysiology*, 118(4):2289-2295, 2017.10
- 4) 長谷川紘也, 真野樹子, 土屋隆子, 土肥洋介, ダシドンドクオトゴントヤ, 豊田亜希子, 品川令, 藤本舞, 須田直人, 術前顎矯正における光学印象の試み (第一報) -撮像時の湿潤と動きの影響-, *日本口蓋裂学会雑誌*, 42(3) : 208-214, 2017.11
- 5) Machiya A, Tsukamoto S, Ohte S, Kuratani M, Fujimoto M, Kumagai K, Osawa K, Suda N, Bullock AN, Katagiri T. Effects of FKBP12 and type II BMP receptors on signal transduction by ALK2 activating mutations associated with genetic disorders. *Bone*, 111:101-108, Epub 2018.03
- 6) 金子優, 大塚雄一郎, 加藤悠歩, 大貫那未, 土屋隆子, Dashdondog OTGONTUYA, 土肥洋介, 豊田亜希子, 須田直人. 顎矯正手術を施行した骨格性下顎前突 8 例における術前後の最大舌圧の変化. *明海歯科医学*, 47(1) : 45-54, 2018.03

### 2. 総説

- 1) Suda N. Growth of maxillo-facial region and related anomalies. *Clin Calcium*, 27(10): 1357-1362, 2017.09

### 3. 症例報告

- 1) 佐々木会, 品川令, 須田直人. 矯正歯科治療とインプラント補綴を行った先天性欠如の Angle II 級症例. *東京矯正歯科学会誌*, 27(1) : 14-19, 2017.6
- 2) 藤田亜矢子, 真野樹子, 平川崇, 高戸毅, 榎宏太郎, 須田直人. 中間顎の外科的整位後に生じた永久切歯の歯根形成不全に対し歯の移植を行った両側性唇顎口蓋裂の 1 例. *日本口蓋裂学会雑誌*, 42(3) : 225-233, 2017.10
- 3) Otsuka Y, Suda N. Interdisciplinary dental treatment of a patient with incontinentia

pigmenti exhibiting oligodontia and skeletal Class III malocclusion. *Orthod Waves*,  
76(4): 246-250, 2017.12

#### D. 学会発表

##### 1. 国際学会

###### (3) 一般演題

- 1) Otsuka Y, Suda N. Biomechanical Consideration of Maxillary Molar Distalization with TADs. 9th World implant Orthodontic Conference, 2-4 Jul 2017, Kobe, Japan.
- 2) Otsuka Y. Uprighting of the impacted mandibular second molar using a miniscrew in small mandibular body. 9th World implant Orthodontic Conference, 2-4 Jul 2017, Kobe, Japan.
- 3) Sasaki A, Suda N. An Adult Case whose Maxillary Molars Were Moved Mesially by TAD. 9th World implant Orthodontic Conference, 2-4 Jul 2017, Kobe, Japan.
- 4) Fujimoto M, Suda N. En-masse Retraction of the Maxillary Anterior Teeth and First Premolars using TADs. 9th World implant Orthodontic Conference, 2-4 Jul 2017, Kobe, Japan.
- 5) Hasegawa N, Otsuka Y, Suda N. An Orthodontic Treatment of a Severe Open Bite Case using TADs. 9th World implant Orthodontic Conference, 2-4 Jul 2017, Kobe, Japan.
- 6) Hasegawa N, Sasaki A, Tsuchiya T, Suda N, Adachi K. Effects of TRPV1 receptor long term antagonism on orthodontic force induced pain. Society for Neuroscience Annual meeting 2017, 11-15 Nov 2017, Washington, DC, USA.
- 7) Tsuchiya T, Suda N, Adachi K. Alternative therapeutic approach to attenuate orthodontic to attenuate orthodontic pain. Society for Neuroscience Annual meeting 2017, 11-15 Nov 2017, Washington, DC, USA.
- 8) Otsuka Y, Suda N. Orthodontic uprighting of the impacted mandibular second molar in small mandibular body using a miniscrew. The 30th Annual Meeting of Taiwan Association of Orthodontists, 8-10 Dec 2017, Taiwan.

##### 2. 全国学会

###### (3) 一般演題

- 1) 長谷川紘也, 真野樹子, 土屋隆子, 土肥洋介, 品川令, 藤本舞, 須田直人. 唇顎口蓋裂児への光学印象の試み(第1報) 湿潤と体動の影響. 第41回日本口蓋裂学会, 2017年5月18-19日, 東京
- 2) 長谷川紘也. NF- $\kappa$ B デコイオリゴ核酸による破骨細胞分化への影響について. 明海歯科医学会第32回学術大会, 2017年6月1日, 坂戸
- 3) 品川令, 藤本舞, 長谷川紘也, 真野樹子, 須田直人. 唇顎口蓋裂患者の過剰歯に

- 関する臨床統計調査. 第41回日本口蓋裂学会, 2017年5月18-19日, 東京
- 4) 大塚雄一郎, 三條恵介, 箕田碧, 土肥洋介, 須田直人. 口腔内スキャナーにより構築された三次元デジタル歯列画像の正確度について. 第27回日本顎変形症学会, 2017年6月15-16日, 東京
  - 5) 上里忠成, 佐々木会, 川尻朱美, 東金由莉, 重松久夫, 坂下英明, 須田直人. Le Fort I型骨切り術後に片側性に上顎骨を下方移動した2例. 第27回日本顎変形症学会, 2017年6月15-16日, 東京
  - 6) 東金由莉, 佐々木会, 大塚雄一郎, 上里忠成, 川尻朱美, 田草川徹, 嶋田淳, 須田直人. Short lingual osteotomyにおける遠位骨片の下方転位の影響. 第27回日本顎変形症学会, 2017年6月15-16日, 東京
  - 7) 大貫那未, 大塚雄一郎, 佐々木会, 須田直人. 上顎両側中切歯を抜去した過大なoverjetの2例. 第76回日本口蓋裂学会, 2017年7月13日, 東京.
  - 8) 町谷亜位子, 自見英治郎, 須田直人, 片桐岳信, 塚本翔, 関根典子, 大手聡. 成体マウスの切歯形成におけるBMPシグナルの役割. 第59回歯科基礎医学会学術大会, 2017年9月16-18日, 長野
  - 9) Mizoguchi Naoko, Minoda Aoi, Suda Naoto, Muramoto Kazuyo. ラット歯根膜領域電気刺激に対する体性感覚野および島皮質口腔領域の応答特性(Characteristics of the elicited responses of rat somatosensory and insular cortices by electrical stimulation to periodontal ligament). 第59回歯科基礎医学会学術大会, 2017年9月16-18日, 長野
  - 10) 土屋隆子, 長谷川尚哉, 須田直人, 安達一典. レーザー照射による矯正痛の制御. 第59回歯科基礎医学会学術大会, 2017年9月16-18日, 長野
  - 11) 鈴木大喜. 多分割Le Fort I型骨切り術を施行した重篤な開咬と顎関節症の骨格性下顎後退症例. 第76回日本矯正歯科学会大会, 2017年10月18-20日, 札幌
  - 12) 町谷亜位子, 自見英治郎, 片桐岳信, 須田直人. 転写共役因子Smad4の欠失は歯の上皮細胞の運命決定を制御し異所性毛様組織を誘導する. 第76回日本矯正歯科学会大会, 2017年10月18-20日, 札幌
  - 13) 長谷川紘也, 真野樹子, 浅香幸子, 藤本舞, 品川令, 須田直人. 唇顎口蓋裂児の光学印象における裂隙形態の影響. 第76回日本矯正歯科学会大会, 2017年10月18-20日, 札幌
  - 14) 金子優, 大塚雄一郎, 加藤悠歩, 大貫那未, 須田直人. 骨格性下顎前突8例の顎矯正手術前後の最大舌圧の変化. 第76回日本矯正歯科学会大会, 2017年10月18-20日, 札幌
  - 15) 東金由莉, 佐々木会, 大塚雄一郎, 上里忠成, 川尻朱美, 田草川徹, 嶋田淳, 須田直人. 骨格性下顎前突症におけるshort lingual osteotomy(SL)の術後安定性. 第76回日本矯正歯科学会大会, 2017年10月18-20日, 札幌



- 1 6) 土屋隆子, 長谷川尚哉, 安達一典, 須田直人. 矯正治療に伴う疼痛に対する動物モデルを用いた疼痛制御法の探索 CO2 レーザー照射による効果. 第76回日本矯正歯科学会大会, 2017年10月18-20日, 札幌
- 1 7) 長谷川尚哉, 佐々木会, 土屋隆子, 安達一典, 須田直人. 矯正治療に伴う疼痛に対する動物モデルを用いた評価系の開発(第4報) TRPV1拮抗薬の歯の移動に対する効果. 第76回日本矯正歯科学会大会, 2017年10月18-20日, 札幌
- 1 8) 大塚雄一郎, 箕田碧, 三條恵介, 土肥洋介, 須田直人. 口腔内スキャナーとCBCTを用いた歯列全体の三次元デジタル画像の統合. 第76回日本矯正歯科学会大会, 2017年10月18-20日, 札幌
- 1 9) 箕田 碧, 大塚雄一郎, 三條恵介, 須田直人. コーンビームCTにより再構成した三次元画像の形態正確度の検証. 第76回日本矯正歯科学会大会, 2017年10月18-20日, 札幌
- 2 0) 町谷亜位子, 自見英治郎, 片桐岳信, 須田直人. 第15回RCGMフロンティアシンポジウム, 2017年12月1-2日, 日高
- 2 1) 長谷川尚哉, 佐々木会, 土屋隆子, 安達一典, 須田直人. 矯正治療に伴う疼痛モデルを用いた鎮痛剤の反復投与における効果. 第11回三叉神経領域の感覚—運動統合機構研究会, 2017年12月2-3日, 大阪
- 2 2) 土屋隆子, 長谷川尚哉, 安達一典, 須田直人. 矯正治療に伴う疼痛に対する炭酸ガスレーザーの効果—第2報. 第11回三叉神経領域の感覚—運動統合機構研究会, 2017年12月2-3日, 大阪

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 大塚雄一郎. 知っておきたい矯正歯科治療の現状—デジタルデンティストリーの発展と歯科矯正用アンカースクリューの可能性—. 明海大学歯学部同窓会静岡県支部学術講演会, 2017年5月, 浜松

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 須田直人: 科学研究費 挑戦的萌芽研究 (15K15759) 臍帯血幹細胞を用いた再生医学的アプローチによる早期顎裂閉鎖に向けて, 2015年4月~2018年3月, 総額3,640千円
- 2) 佐々木会: 科学研究費 若手研究(B) (16K20653) 歯の移動に伴う疼痛: 新規治療薬の探索と発現機構の解明, 2016年4月~2019年3月, 総額2,990千円
- 3) 長谷川紘也: 科学研究費 若手研究(B) (16K21326) 破骨細胞の分化と成熟化シグナルのクロストークを探る, 2016年4月~2019年3月, 総額4,160千円

3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

- 1) 長谷川紘也：2017年度宮田奨励金A，エピソーマルベクターを用いた局所発現遺伝子導入法の確立，総額 970 千円
- 2) 町谷亜位子：2017年度宮田奨励金E，歯の形成における細胞分化の運命決定メカニズムの解明，総額 300 千円

# 口腔生物再生医工学講座

生 化 学 分 野

微 生 物 学 分 野

歯 周 病 学 分 野

基 礎 生 物 学 分 野

基 礎 化 学 分 野

# 生化学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Kusuyama J, Bandow K, Ohnishi T, Hisadome M, Shima K, Semba I and Matsuguchi T: Osteopontin inhibits osteoblast responsiveness through the down-regulation of focal adhesion kinase mediated by the induction of low-molecular weight protein tyrosine phosphatase. *Mol Biol Cell* 28. 1326-1336, 2017,5
- 2) Suzuki R, Sakagami H, Amano S, Fukuchi K, Sunaga K, Kanamoto T, Terakubo S, Hakashima H, Shirataki Y, Tomomura M, Masuda Y, Yokose S, Tomomura A, Watanabe H, Okawara M and Matahira Y: Evaluation of Biological Activity of Mastic Extracts Based on Chemotherapeutic Indices. *In Vivo* 31, 591-598, 2017,7
- 3) Tomomura M, Tomomura A, Oizumi T, Yasui T and Sakagami T: Extract of *Sasa senanensis* Rehder Leaf promotes osteoblast differentiation in MC3T3-E1 Cells. *J Meikai Dent Med* 46, 111-116, 2017,9
- 4) Kusuyama J, Ohnishi T, Bandow K, Amir MS, Shima K, Semba I and Matsuguchi T: Constitutive activation of p46JNK2 is indispensable for C/EBP  $\delta$  induction in the initial stage of adipogenic differentiation. *Biochem J* 474, 3421-3437, 2017,10
- 5) Sakagami H, Uesawa Y, Masuda Y, Tomomura M, Yokose S, Miyashiro T, Murai J, Takao K, Kanamoto T, Terakubo S, Kagaya H, Nakashima H and Sugita Y: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of newly synthesized piperic acid esters. *Anticancer Res* 37, 6161-6168, 2017,11
- 6) Sakagami H, Tsuji M, Tomomura M, Masuda Y, Iwama S, Nakagawa M, Suzuki H, Tanaka K, Abe T, Tamura N, Tomomura A, Yokose S, Takeshima H, Natori T, Horiuchi M, Fujisawa T, Kiuchi Y, Oguchi K, Yasui, Oizumi H and Oizumi T: Protection of differentiating neuronal cells from amyloid  $\beta$  peptide-induced injury by alkaline extract of leaves of *Sasa senanensis* Rehder. *In vivo* 32, 231-239, 2018,3
- 7) Kusuyama J, Kamisono A, ChangHwan S, Amir MS, Bandow K, Eiraku N, Ohnishi T and Matsuguchi T: Spleen tyrosine kinase influences the early stages of multilineage differentiation of bone marrow stromal cell lines by regulating phospholipase C gamma activities. *J Cell Physiol*, 233. 2549-255, 2018,3

## 2. 総説

- 1) Sakagami H and Tomomura M: Dental Application of Natural Products. Medicines 5, E 21, 2018, 2

## C. その他の刊行物など

- 1) 友村美根子,骨粗鬆症特集:ゲラニルゲラニオールと骨代謝. *Medical Science Digest*. 43, 10-12, 2017,8
- 2) 坂上 宏、天野 滋、増田 宜子、横瀬 敏志、友村美根子、友村 明人、鈴木 龍一郎、須永 克佳、白瀧 義明、福地 邦彦、金本 大成、寺久保 繁美、中島 秀喜、渡邊 博文、大川原 正喜、又平 芳春: : 解説書: マスティック抽出画分の薬理作用. *New Food Industry* 59, 67-76, 2017,9
- 3) 友村美根子、友村明人、大泉 高明、安井 利一、坂上 宏: 解説書: クマザサ葉抽出液は骨芽細胞と破骨細胞を相反的に制御することで骨形成を促進する. *New Food Industry* 59, 41-45, 2017, 11

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 坂東健二郎: 血清カルシウム降下因子 *Caldecrin* の発現調節機構の解析, 明海歯科医学会第 32 回学術大会, 坂戸, 2017, 5
- 2) 深見 聡、鈴木 龍一郎、友村 美根子、友村 明人、白瀧 義明: フサザクラに含まれる骨芽細胞の分化を促進する化合物の探索、第 64 回日本生薬学会、船橋、2017, 9
- 3) 坂上 宏、友村美根子、増田宜子: 明海大学歯科医学総合研究所(M-RIO)の設立一有害作用の少ない口腔疾患治療薬の開発をめざして一、第 59 回歯科基礎医学会学術大会、塩尻, 2017, 9
- 4) 魏 冉、安藤香奈絵、友村美根子、久永眞市: 小胞輸送制御における *LMTK1* のパルミトイル化とアイソフォームの役割、第 40 回日本分子生物学会年会・第 90 回日本生化学会大会、合同大会、神戸、2017, 12
- 5) 西野尋紀、高野哲也、堤弘次、浅野朋子、斎藤太郎、安藤香奈絵、友村美根子、久永眞市: *Lemur kinase1A(LMTK1A)*は *Rab11A* 依存的なエンドソームの輸送を介して樹状突起スパインの形成を制御する、第 40 回日本分子生物学会年会・第 90 回日本生化学会大会、合同大会、神戸、2017, 12

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 坂上宏、鈴木龍一郎、天野滋、須永克佳、金本大、福地邦彦、寺久保繁美、白瀧

義明、増田宜子、横瀬敏志、友村美根子、友村明人、中島秀喜、渡邊博文、大川原正喜、又平芳春：スティック画分の生物活性の化学療法係数に基づいた再評価、第136回薬理学会関東部会、東京、2017,7

- 2) 岩間聡一、坂上宏、増田宜子、友村美根子、横瀬敏志、友村明人、中川美香、鈴木隼人、田中健大、阿部智之、大石洋平、田村暢章、竹島浩、鈴木龍一郎、白瀧義明、辻まゆみ、木内裕二、堀江憲夫、名取威徳、堀内美咲、勝呂まどか、大泉浩史、大泉高明：ササヘルスのアミロイドペプチド誘発性神経細胞傷害に対する保護作用、第137回日本薬理学会関東部会、東京、2017,10
- 3) 坂上宏、植沢芳広、増田宜子、友村美根子、金本大成、寺久保繁美、宮城昂幹、村井淳一、高尾浩一、横瀬敏志、加賀谷肇、中島秀喜、杉田義昭：ペペリン酸エステル誘導体の構造活性相関：腫瘍選択性とアポトーシス誘導、第137回日本薬理学会関東部会、東京、2017,10
- 4) 坂上宏、友村美根子、友村明人、増田宜子、横瀬敏志、岩間聡一、中川美香、鈴木隼人、田中健大、阿部智之、大石洋平、田村暢章、竹島浩、安井利一、辻まゆみ、木内祐二、小口勝司、堀内美咲、藤澤知弘、勝呂まどか、大泉浩史、大泉高明：ササヘルスによるホルメシスおよび神経細胞保護効果の誘導、第138回日本薬理学会関東部会、東京、2018,3

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 友村美根子：骨代謝を正、負に制御する分子。 生体機能分子生物研究会、鹿児島、2018,3

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 友村美根子（代表）：基盤研究（C）(16K11487)；骨吸収と骨形成を相反的に制御するゲラニルゲラニオール作用の解明と骨粗鬆症への応用、2016.4-2019.3

##### 3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

- 1) 坂東健二郎：局所炎症におけるカルデクリンの骨免疫系への作用

# 微生物学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 大森喜弘, 天野 滋, 廣井美紀, 山口花, 2017 年度 感染免疫制御学 実習 (第2版, DTP 出版, 東京, 2017 年)

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Hiroi, M: Hypoxia up-regulates IL-4/IL-13-induced arginase-1 expression in mouse macrophages. 5th Annual Meeting of the International Cytokine & Interferon Society. Kanazawa, Japan, 2017 October.

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 森 一将, 廣井美紀, 嶋田 淳, 大森喜弘: インターフェロン誘導性ケモカインのマウス扁平上皮癌細胞に対する抗腫瘍作用. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 松本, 2017 年 9 月
- 2) 天野 滋, 松本 勝, 竹下文章, 大森喜弘, 安井利一, ブラジル産グリーンプロポリス配合歯磨き粉の口腔環境改善効果. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 松本, 2017 年 9 月
- 3) 森 一将, 廣井美紀, 嶋田 淳, 大森喜弘: インターフェロン誘導性ケモカインによるマウス扁平上皮癌細胞株に対する抗腫瘍作用の検討. 第 62 回日本口腔外科学科総会, 京都, 2017 年 10 月

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 山口花 (研究代表者): 若手研究 B, マウス舌癌モデルにおける癌免疫編集機構によるインターフェロン耐性獲得機構.
- 2) 廣井美紀 (研究分担者): 基盤研究 C, 口腔扁平上皮癌における腫瘍関連マクロファージの誘導機構ならびに機能解析.

### 3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 廣井美紀 (宮田研究奨励金 (A)): M2 マクロファージの分化誘導における低酸素誘導性転写因子 Hypoxia inducible factor-1 の関与

## 歯周病学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 林 丈一朗,"Part II, Chapter 1, Step 5 インプラントと歯周病, 成功するインプラント治療の基本原則, ヒョーロン・パブリッシャーズ, 58-62, 2017, 8
- 2) 林 丈一朗,"Part II, Chapter 5, Step 23 2次手術", 成功するインプラント治療の基本原則, ヒョーロン・パブリッシャーズ, 122-134, 2017, 8
- 3) 林 丈一朗, 長谷川雄一,"Part II, Chapter 7, Step 30 メインテナンス時の検査項目, 成功するインプラント治療の基本原則, ヒョーロン・パブリッシャーズ, 149-154,2017,8
- 4) 林 丈一朗, 長谷川雄一,"Part II, Chapter 7, Step 31 炎症と力のコントロール", 成功するインプラント治療の基本原則, ヒョーロン・パブリッシャーズ, 155-160, 2017, 8
- 5) 申 基喆/編, 辰巳順一, 林 丈一朗, 谷田部一大, 大塚秀春, 石井麻紀子, 鈴木允文, 林 鋼兵/著, 歯周病診断と治療マニュアル第3版, 美和野印刷, 東京, 2017, 10
- 6) 申 基喆, 歯周外科で何を治せるのか, 聞くに聞けない歯周病治療 100, デンタルダイヤモンド社, 96-97, 2018, 3
- 7) 辰巳順一, 申 基喆, 歯周外科の基本, 聞くに聞けない歯周病治療 100, デンタルダイヤモンド社, 98-99, 2018, 3
- 8) 辰巳順一, 申 基喆, フラップキュレクターの術式と特徴, 聞くに聞けない歯周病治療 100, デンタルダイヤモンド社, 101, 2018, 3
- 9) 申 基喆, CTG の術式と特徴, 聞くに聞けない歯周病治療 100, デンタルダイヤモンド社, 112-113, 2018, 3
- 10) 林 丈一朗, 申 基喆, FGG の術式と特徴, 聞くに聞けない歯周病治療 100, デンタルダイヤモンド社, 110-111, 2018, 3

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) "Joichiro Hayashi, Akihiko Hasegawa, Kohei Hayashi, Takafumi Suzuki, Makiko Ishii, Hideharu Otsuka, Kazuhiro Yatabe, Seiichi Goto, Junichi Tatsumi and Kitetsu Shin", Effects of periodontal treatment on the medical status of patients with type 2 diabetes mellitus: a pilot study, "BMC Oral Health, 17:77, 2017 DOI 10.1186/s12903-017-0369-2", 2017, 4
- 2) 大西英知, 林 丈一朗, 権 海尚, 竹谷 佳将, 夏堀壮一郎, 小玉治樹, 鈴木允文,



大塚秀春, 辰巳順一, 申 基喆, バイオセンサーを用いた唾液ヘモグロビン検出による歯周病スクリーニング検査法の開発, 明海歯科医学, 47(1), 33-44, 2018, 2

## 2. 総説

- 1) 大塚秀春, 申 基喆, 明海大学病院歯周病科におけるインプラントの実態調査, 日本歯周病学会会誌, 59 (1), 10-18, 2017, 4
- 2) 申 基喆, インプラント治療後のメンテナンス ～インプラント周囲炎の予防と対応～, 日本歯科医師会雑誌, 70 (2), 21-31, 2017, 5

### (3) 一般演題

- 1) Joichiro Hayashi, Soichiro Natsubori, Takao Sugahara, Kitetsu Shin, Implant site development by orthodontic extrusion and buccal root torque at site exhibiting severe gingival recession with periodontitis: a case report, "National Symposium of Osteology Japan, Tokyo, 2017, 6
- 2) Junichi Tatsumi, Kohei Hayashi, Kitetsu Shin, Long-term case of alveolar bone augmentation by GBR method using porous HAP, National Symposium of Osteology Japan, Tokyo, 2017, 6
- 3) Hidetomo Onishi, Takafumi Suzuki, Kitetsu Shin, Subepithelial connective tissue graft with coronally advanced flap or tunnel technique for the treatment of Miller class III gingival recession: A case report, "National Symposium of Osteology Japan, Tokyo, 2017, 6
- 4) Ayako Yasui, Junichi Tatsumi, Yoshimasa Taketani, Soichiro Natsubori, Hideharu Otsuka, Takahumi Suzuki, Joichiro hayashi, Kitetsu Shin, Is horizontal load a risk factor for peri-implantitis in two-piece implants?, Academy of Osseointegration 2018 Annual Meeting, 2018, 3

## 2. 全国学会

### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 林 丈一郎, インプラントと天然歯周囲の低侵襲ソフトティッシュマネジメント, ICOI 日本支部法人設立記念 総会・学術大会, 東京, 2017, 7
- 2) 林 丈一郎, シンポジウム 9 「歯周病患者に対するインプラント治療の問題点とその解決」 インプラント周囲疾患発症のリスクと角化粘膜の必要性, 第 47 回日本口腔インプラント学会学術大会, 仙台, 2017, 9
- 3) 辰巳順一, 抗菌光線力学療法の臨床応用とその可能性, 第 29 回日本レーザー歯学会学術大会, 教育講演, 新潟市, 2017, 9
- 4) 申 基喆, 歯周病患者におけるインプラント治療とメンテナンス, 第 47 回 公益

社団法人 日本口腔インプラント学会学術大会, 仙台市, 2017, 9

- 5) 申 基喆, 井上 孝, 小方頼昌, 高橋慶壮, シンポジウムV「口腔インプラント治療の新しい方向性」, 第60回秋季日本歯周病学会学術大会, 京都, 2017, 12
- 6) 申 基喆, 歯周形成外科への EMD の応用, インプラント歯周再生研究会 主催 第4回 沖縄セミナー, 那覇市, 2018, 2
- 7) 申 基喆, 歯周病患者におけるインプラント周囲疾患の予防とその対応, (公社) 日本口腔インプラント学会関東甲信越支部 第37回学術大会, 横浜市, 2018, 2

### (3) 一般演題

- 1) 安井絢子, 辰巳順一, 竹谷佳将, 夏堀壮一郎, 小玉治樹, 林 鋼兵, 鈴木允文, 石井麻紀子, 大塚秀春, 申 基喆, “インプラント-アバットメント接合部封鎖性に及ぼす水平荷重負荷の影響第3報: 水平荷重解除後の FAI 細菌漏洩程度の比較研究”, 第60回春季日本歯周病学学術大会, 福岡, 2017, 5
- 2) 大森裕斗, 大西英知, 林 丈一朗, 申 基喆, 上顎犬歯の歯肉退縮に上皮下結合組織移植術を併用した歯肉弁歯冠側移動術を用いて根面被覆を行った一症例, 第60回春季日本歯周病学会学術大会, 福岡, 2017, 5
- 3) 小玉治樹, インプラント周囲におけるプロービング時の出血に関する臨床的研究, 明海歯科医学会第31回学術大会, 坂戸, 2017, 6
- 4) 鈴木允文, 林 鋼兵, 申 基喆, 明海大学型少人数制グループ実習「Vertical Tier」における学年別の学習効果の検討, 第36回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 松本, 2017, 7
- 5) 鈴木允文, 慢性歯周炎におけるメカニカルストレスによる骨吸収の分子メカニズムに関する研究, 明海歯科医学会第32回学術大会, 坂戸, 2017, 10
- 6) 安井絢子, 辰巳順一, 大塚秀春, 申 基喆, フィクスチャー - アバットメント接合部 (FAI) 封鎖性と細菌侵入の関係性, 第7回関東9大学歯周病学講座日本臨床歯周病学会関東支部合同研修会, 鶴見, 2017, 11
- 7) 林 鋼兵, 辰巳順一, 申 基喆, 薬物性歯肉増殖症患者に対し, 歯周基本治療に抗菌光線力学療法 (a-PDT) を併用することにより歯肉増殖が改善した1症例, 第34回日本臨床歯周療法集団学術大会, 東京, 2017, 11
- 8) 小玉治樹, 林 丈一朗, 松村智美, 上田隼也, 夏堀壮一郎, 大森裕斗, 林 鋼兵, 小村尚徳, 辰巳順一, 申 基喆, 歯周病患者におけるインプラント周囲疾患に関する臨床研究 第2報: インプラント周囲のプロービングについて”, 第60回秋季日本歯周病学会学術大会, 京都, 2017, 12
- 9) 小野裕貴, 林 丈一朗, 申 基喆, コンポジットレジンを用いた隣接歯面へのベニア修復により歯間乳頭を再建した一症例, 第60回秋季日本歯周病学会学術大会, 京都, 2017, 12

- 1 0) 竹谷佳将, 鈴木允文, 吉川佳織, 安井絢子, 石井麻紀子, 大塚秀春, 申 基喆, *Porphyromonas gingivalis* 由来 LPS 存在下での骨リモデリングにおけるメカニカルストレス応答性イオンチャネル TRPV4 の役割, 第 60 回秋季日本歯周病学会学術大会, 京都, 2017, 12
- 1 1) 小玉治樹, 林 丈一朗, 吉川佳織, 夏堀壮一郎, 鈴木允文, 石井麻紀子, 辰巳順一, 申 基喆, 歯周病患者におけるインプラント周囲疾患に関する臨床研究 - インプラント周囲のプロービングについて -, 平成 29 年度埼玉県歯科医学大会, 2018, 2
- 1 2) 辰巳順一, 安井絢子, 上田隼也, 竹谷佳将, 大塚秀春, 申 基喆, 側方荷重負荷によるインプラント-アバットメント封鎖性に関する基礎的検討, 平成 29 年度埼玉県歯科医学大会, 2018, 2
- 1 3) 小野裕貴, 林 丈一朗, 申 基喆, コンポジットレジンを用いた隣接歯面へのベニア修復により歯間乳頭を再建した一症例, 平成 29 年度埼玉県歯科医学大会, 2018, 2

#### E. その他の研究会, 講演など

- 1) 林 丈一朗, 歯周治療ベーシックシリーズ 歯周治療の診査・診断と治療計画 (歯周治療 I), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2017, 5
- 2) 林 丈一朗, 歯周治療ベーシックシリーズ 歯周基本治療 (歯周治療 I I), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2017, 5
- 3) 林 丈一朗, インプラントと天然歯周囲の低侵襲ソフトティッシュマネジメントを考える, 比企郡市歯科医師会学術講演会, 2017, 6
- 4) 辰巳順一, 歯科インプラント治療の最新事情”, “城西大学 健康市民大学, 坂戸, 2017, 6
- 5) 林 丈一朗, 歯科インプラント治療の最新事情, 城西大学 健康市民大学, 2017, 6
- 6) 林 丈一朗, クリニカルステップアップセミナー 歯周治療におけるインスツルメンテーション, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2017, 6
- 7) 林 丈一朗, ソニックアワーを活用した最新歯周治療, GUIDED BIOFILM THERAPY, 東京, 2017, 7
- 8) 辰巳順一, インプラント周囲炎のリカバリー処置, 公益社団法人日本口腔インプラント学会第 30 回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会, 名古屋, 2017, 11
- 9) 辰巳順一, 根分岐部病変 — 診断・器具・治療法・予後 —, 明海大学歯学部群馬県支部同窓会講演会, 前橋, 2018, 3
- 1 0) 辰巳順一, 痛くない, 腫れない, 歯周外科処置のポイント, 一般社団法人千葉市歯科医師会平成 29 年度第 1 回講演会, 千葉市, 2017, 6
- 1 1) 林 丈一朗, インプラントと天然歯周囲の低侵襲ソフトティッシュマネジメント

を考える,川越市歯科医師会学術講演会,川越,2018,2

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

1) 研究代表者:申 基喆 研究分担者:辰巳順一,林 丈一朗,大塚秀春,鈴木允文,林 鋼兵,歯周病患者に対するインプラント治療におけるインプラント周囲炎のリスク因子を探る,学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) H29-32年度,2017,4

2) 研究代表者:大塚秀春 研究分担者:申 基喆,辰巳順一,林 丈一朗,林 鋼兵,石井麻紀子,“低出力パルス超音波が歯周外科後の総称治癒に与える効果”,学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) H28-30年度,2017,4

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

1) 宮田研究奨励金 (A) 鈴木允文,2次性咬合性外傷における歯槽骨吸収の分子メカニズムに関する研究

## 基礎生物学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- ・ Epstein-Barr virus (EBV)-associated epithelial and non-epithelial lesions of the oral cavity. Kikuchi K, Inoue H, Miyazaki Y, Ide F, Kojima M and Kusama K: Jpn Dent Sci Rev **53**, 95-109, 2017
- ・ Calcifying Odontogenic Cyst Showing a Varied Epithelial Lining: An Additional Case with Implications for the Divergent Differentiation Capacity of the Cyst Epithelium. Ide F, Muramatsu T, Miyazaki Y, Kikuchi K and Kusama K: Head Neck Pathol 2018. [Epub ahead of print]

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

##### 1) 2017年度 宮田研究奨励金 (A)

「アセトアルデヒドが口腔上皮細胞の腫瘍化に及ぼす影響」

## 基礎化学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) "Kan Ueji, Kuniharu Nomoto, Shuhei Ichimura, Satsuki Shinozuka, Keiichi Abe, Kazuaki Tomono, Yoshinori Tamaki, Kazuo Miyamura", "Crystal Structures of Bis(diphenylglyoximato)-Nickel(II) Complex with Varying Alkoxy Chain Lengths", "BULLETIN OF THE CHEMICAL SOCIETY OF JAPAN 2017, VOL. 90, 684-688", 2017, 3
- 2) "Shuhei Ichimura, Masahiro Saeki, Kan Ueji, Yoshinori Tamaki, Kazuaki Tomono, Kuniharu Nomoto, and Kazuo Miyamura", "Formation of Two Kinds of Columnar Crystal Structures of Saddle-Shape Metal Complex [Ni(tmtaa)] Induced by Halogen Substitution", "BULLETIN OF THE CHEMICAL SOCIETY OF JAPAN 2017, VOL. 90, 863-871", 2017, 7

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) "柿原 俊太, 佐伯 雅弘, 市村 脩平, 田卷 義規, 宮村 一夫", "嵩高い末端置換基を複数持つアルキル四級アンモニウムをカチオンとした [Ni(dmit)<sub>2</sub>] 錯塩結晶", "錯体化学会第 67 回討論会、北海道大学 札幌キャンパス, 2017, 9"
- 2) "関澤 翔弥, 宮村 一夫, 野元 邦治, 吉田 幸史, 田卷 義規, 本田 暁紀", "o-, p-位にアルコキシ基を持つ Ni(II)salen 誘導体の熱挙動分析", "錯体化学会第 67 回討論会、北海道大学 札幌キャンパス, 2017, 9"
- 3) "新保 翔平, 塩谷 勇亮, 柿原 俊太, 田卷 義規, 野元 邦治, 宮村 一夫", "C 置換部と N 置換部に置換基を有する Schiff 塩基金属錯体の結晶構造の系統的变化", "錯体化学会第 67 回討論会、北海道大学 札幌キャンパス, 2017, 9"

# 機能保存回復学講座

歯科生体材料学分野

歯科補綴学分野（有床義歯）

歯科補綴学分野（クラウンブリッジ）

保存治療学分野

オーラル・リハビリテーション学分野

摂食嚥下リハビリテーション学分野

# 歯科生体材料学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 日比野 靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 中畠 裕: Introduction to Practical Dental Materials, 学建書院, 2017 年

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 藤田崇史, 菅原絹枝, 遠藤 聡, 磯貝知範, 斉藤小夏, 猪野照夫, 岩瀬直樹, 佐藤雅介, 勅使河原大輔, 大塚英稔, 橋戸広大, 日比野 靖, 中畠 裕, 藤澤政紀: CAD/CAM クラウン用レジンブロックに関する色彩学的検討ー上顎小臼歯との比較ー, 明海歯学 46 (2), 132-138, 2017.

### 2. 総説

- 1) 竹下 玲, 日比野 靖, 安井利一, 中畠 裕: CariScreen®ーその特徴と齲蝕管理プログラム (CAMBRA™) での応用についてー. 日歯理工誌, 36, 241-244, 2017

## C. その他の刊行物など

- 1) 日比野 靖: 歯科用セメントを再考する 充填用ガラスイオノマーセメントの透明性の経時的変化. 咬み合わせの科学, 37 (1, 2), 95-100, 2017
- 2) 中畠 裕, 板野守秀: TC106/SC7 オーラルケア用品総会. 第 53 回 ISO/TC106 香港会議報告書, 日本歯科材料器械協議会, 東京, 92-97, 2017
- 3) 日比野 靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 中畠 裕: 画期的!! シェイク混和法による超速硬石こうシェイク! ミックスストーンの物性. ジーシーサークル, 164, 36-39, 2018

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Nagasawa Y, Hibino Y, Shigeta H and Nakajima H : Bond strength of ceramic to resin composite for core build-Up. 2017 Annual Meeting of Academy of Dental Materials, Nuremberg, Germany, October, 2017.
- 2) Carrabba M, Nagasawa Y, Julosky J and Ferrari M : Flexural strength of CAD/CAM and pressed novel lithium disilicate. 2017 Annual Meeting of Academy of Dental Materials, Nuremberg, Germany, October, 2017.



## 2. 全国学会

### (3) 一般演題

- 1) 重田浩貴, 長沢悠子, 栗田 智, 尾松 純, 和田賢一, 日比野 靖, 中畠 裕 : レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの圧縮強さの経時的変化に及ぼす水の影響. 第 69 回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2017 年 4 月.
- 2) 坂 英樹, 日比野 靖, 中畠 裕 : 明海大学歯学部卒業生を対象とした学修状況等に関するアンケート調査. 第 36 回日本歯科医学教育学会学術大会, 松本, 2017 年 7 月.
- 3) 日比野 靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 江田義和, 松本篤樹, 尾松 純, 栗田 智, 和田賢一, 中畠 裕 : 試作 CAD/CAM 冠用レジンプロックの曲げ強さ. 第 70 回日本歯科理工学会学術講演会, 新潟, 2017 年 10 月.
- 4) 重田浩貴, 長沢悠子, 江田義和, 松本篤樹, 栗田 智, 尾松 純, 和田賢一, 日比野 靖, 中畠 裕 : レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの機械的性質に及ぼすコーティング材の影響. 第 70 回日本歯科理工学会学術講演会, 新潟, 2017 年 10 月.
- 5) 長沢悠子, 日比野 靖, 重田浩貴, 江田義和, マルコ・フェラーリ, 中畠 裕 : 接着性レジンセメントのせん断強さに対する表面処理の影響. 第 36 回日本接着歯学会学術大会, 東京, 2017 年 11 月.

## 3. 地方会

### (3) 一般演題

- 1) 長沢悠子 : イタリア, シェナ大学歯学部への研究留学を経て. 平成29年度日本歯科理工学会関東地方会夏期セミナー, 逗子, 2017年8月.

## 歯科補綴学(有床義歯)

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) S. Ueda, M. Sone, H. Hamasaka, Y. Okawa, S. Somekawa, M. Masuda, A. Matsui, Y. Toyota, F. Narumi, T. Matsukawa, K. Okamoto, and S. Ohkawa", A basic study on the accuracy of a zirconia coping fabricated by the CAD/CAM system-Application for post scanning-, "JJ Mag Dent, vol26 (2) ,26-29", 2017, 12
- 2) 上田脩司, 曾根峰世, 濱坂弘毅, 大川 穰, 染川正多, 松本大慶, 豊田有美子, 鳴海史子, 松川高明, 岡本和彦, 岡根秀明, 大川周治, CAD/CAMにより製作したジルコニア製根面板の適合性に関する基礎的研究 スキャニング用ポストの応用, 日磁歯誌, 26 (1), 41-46, 2017, 12

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### 一般演題

- 1) "遠藤 舞, 大川 穰, 染川正多, 上田脩司, 松本大慶, 大川周治", [n]持続発音位を応用した咬合採得法の有用性, 第 27 回全身咬合学会 (東京) ,2017,11
- 2) 染川 正多, 4 基本味のスクリーニング検査法を応用した味覚機能評価の有用性, "第 211 回明海歯科医学会 大学院歯学研究科研究発表会 (坂戸) ",2017,10
- 3) "上田脩司, 曾根峰世, 濱坂弘毅, 大川 穰, 染川正多, 松本大慶, 豊田有美子, 鳴海史子, 松川高明, 岡本和彦, 大川周治", CAD/CAM により製作したハイブリッドレジン製根面板の適合性-スキャニング用ポストと  $\mu$ CT の応用-, 第 27 回日本磁気歯科学会学術大会, 2017,11
- 4) "曾根峰世, 上田脩司, 濱坂弘毅, 大川 穰, 染川正多, 松本大慶, 高橋 快, 豊田有美子, 鳴海史子, 松川高明, 岡本和彦, 大川周治", 磁性アタッチメント義歯における設計の相違と予後との関連性について, 第 27 回日本磁気歯科学会学術大会, 2017,11
- 5) 根来理沙, 豊田有美子, 染川正多, 大川 穰, 上田脩司, 松本大慶, 大川周治, 聴覚刺激が味覚機能に及ぼす影響 -酸味と苦味について-, 日本咀嚼学会 第 28 回学術大会 (東京) ,2017,9
- 6) 遠藤 舞, 松川高明, 豊田有美子, 大川 穰, 染川正多, 上田脩司, 磯貝佳史, 岡本和彦, 大川周治, 有床義歯装着者における【n】持続発音位の経時的変化 -Eichner 分類 C 症例-, 平成 29 年度(公社)日本補綴歯科学会 第 126 回学術大会 (横浜) ,2017,7
- 7) 大川 穰, 鳴海史子, 上田脩司, 曾根峰世, 濱坂弘毅, 松井藍有美, 染川正多,

岡本和彦, 大川周治, 嗅覚刺激が睡眠時ブラキシズムに及ぼす影響, 平成 29 年度 (公社)日本補綴歯科学会 第 126 回学術大会 (横浜), 2017, 7

- 8) "大川 穰, 豊田有美子, 遠藤 舞, 染川正多, 上田脩司, 松本大慶, 大川周治", 嗅覚刺激による睡眠時ブラキシズムの抑制, 日本顎口腔機能学会 第 59 回学術大会, 2017, 11

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 安井利一(研究代表者)、竹下 玲(分担者)、岡本和彦(分担者)、高野安紀子(分担者), 細胞内に侵入した歯周病原性細菌の病態形成機構とその侵入細菌の除去薬剤の検索,"学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) ",2017,5

## 歯科補綴学(クラウン・ブリッジ)

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 藤澤政紀(分担), 日本顎関節学会学術用語集, クインテッセンス出版株式会社, 2017, 7.

### B. 学術論文

#### 1. 原著

1. 藤田崇史, 菅原絹枝, 遠藤 聡, 磯貝知範, 猪野照夫, 岩瀬直樹, 佐藤雅介, 勅使河原大輔, 大塚英稔, 橋戸広大, 日比野 靖, 中畷 裕, 藤澤政紀, CAD/CAM クラウン用レジンブロックに関する色彩学的検討 -上顎小白歯との比較-, 明海歯科医学, 46 (2), 132-138, 2017.
2. Kuboki T, Ichikawa T, Baba K, Fujisawa M, Sato H, Aita H, Koyama S, Hideshima M, Sato Y, Wake H, Kimura-Ono A, Nagao K, Kodaira-Ueda Y, Tamaki K, Sadamori S, Tsuga K, Nishi Y, Sawase T, Koshino H, Masumi SI, Sakurai K, Ishibashi K, Ohyama T, Akagawa Y, Hirai T, Sasaki K, Koyano K, Yatani H, Matsumura H. A multi-centered epidemiological study evaluating the validity of the treatment difficulty indices developed by the Japan Prosthodontic Society. J Prosthodont Res. 2017 Sep 12. pii: S1883-1958(17)30080-4. doi: 10.1016/j.jpor.2017.08.002. [Epub ahead of print]
3. 大塚英稔, 佐藤雅介, 齊藤小夏, 寺田信幸, 園川隼人, 野原倫久, 林俊成, 勅使河原大輔, 三浦寛貴, 藤澤政紀, 日中の咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練が睡眠中の脳波に及ぼす影響, 明海歯科医学 47 (1), 94-104, 2018.
4. 勅使河原大輔, 猪野照夫, 大塚英稔, 岩瀬直樹, 佐藤雅介, 藤田崇史, 齊藤小夏, 磯貝知範, 橋戸広大, 藤澤政紀, 汎用デジタルカメラを用いた顔面形状計測, 明海歯科医学 47 (1), 83-93, 2018.

### C. その他の刊行物など

- 1) 藤澤政紀, 近藤尚知, インターディシプリナリーデンティストリー -補綴歯科専門医は多分野から何を求められているか-, 日補綴会誌, 9: 101, 2017, 4.
- 2) 藤澤政紀, 歯界展望 特別号歯科医療未来と夢 第23回日本歯科医学会総会, 医歯薬出版株式会社, 2017, 5.

## D. 学会発表

### (3) 一般演題

- 1) Konatsu Saito, Hidetoshi Otsuka, Masayuki Sato, Masanori Fujisawa, Effect of EMG Biofeedback Training for Daytime Clenching on Regulation of Grinding during Sleep, 17th Biennial Meeting of the International College of Prosthodontists (ICP), 2017, 9.
- 2) Kodai Hashido, Daisuke Teshigawara, Tomonori Isogai, Masayuki Sato, Masanori Fujisawa, 3D-EVALUATION OF CAD/CAM CROWN FIT UTILIZING MICRO-COMPUTED TOMOGRAPHY, 17th Biennial Meeting of the International College of Prosthodontists (ICP), 2017, 9.
- 3) Masanori Fujisawa, Chikayuki Odaira, Daisuke Teshigawara, Masayuki Sato, Konatsu Saito, Kodai Hashido, Tomonori Isogai, A Case of an Enamel Hypoplasia Patient treated with Ceramic Restorations, 10th International Federation of Esthetic Dentistry, 2017, 9.
- 4) Daisuke Teshigawara, Teruo Ino, Masanori Fujisawa, Immediate Surgical Obturation with Full Arch Dentition after Partial Maxillectomy: A Case Report, ISMR 2017 Conference, 2017, 10.
- 5) Teruo Ino, Daisuke Teshigawara, Masanori Fujisawa, Effects of Maxillary Defects on Record Base Stability for Edentulous Cases: A Finite Element Analysis, ISMR 2017 Conference, 2017, 10.

## 2. 全国学会

### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 藤澤政紀, 日本歯科審美学会学習プログラムについて, 日本歯科審美学会平成29年度特別セミナー, 2017, 6.

### (3) 一般演題

- 1) 橋戸広大, 勅使河原大輔, 藤澤政紀,  $\mu$ CT画像によるCAD/CAMクラウンの三次元的適合状態評価, 日本デジタル歯科学会 第8回学術大会, 2017, 4.
- 2) 勅使河原大輔, 猪野照夫, 藤澤政紀, 上顎部分切除後に人工歯を排列した即時顎補綴装置を装着した2症例, 一般社団法人日本顎顔面補綴学会 第34回総会・学術大会, 2017, 6.
- 3) 斉藤小夏, 佐藤雅介, 大塚英稔, 園川隼人, 野原倫久, 猪野照夫, 岩瀬直樹, 勅使河原大輔, 吉田有里, 藤田崇史, 橋戸広大, 寺田信幸, 藤澤政紀, 日中のバイオフィードバック訓練が夜間睡眠時のグライディングに及ぼす影響, 日本補綴歯科学会 第126回学術大会, 2017, 7.

- 4) 藤澤政紀, 大塚英稔, 佐藤雅介, 斉藤小夏, 日中の咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練が睡眠時の脳波に及ぼす影響, 第 33 回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」, 2017, 8.
- 5) 野原倫久, 吉田崇将, 佐藤雅介, 斉藤小夏, 藤澤政紀, 寺田信幸, ブラキシズムが睡眠に及ぼす影響, ME とバイオサイバネティックス研究会 (MBE), 2018, 3.

### 3. 地方会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 藤澤政紀, 咬合が及ぼす影響 -咬合から不定愁訴-, 日本補綴歯科学会関越支部生涯学習公開セミナー(新潟), 2017, 11.
- 2) 藤澤政紀, 覚醒時ブラキシズムから睡眠時ブラキシズムへのアプローチ, 日本補綴歯科学会関西支部 生涯学習公開セミナー(京都), 2018, 1.

#### (3) 一般演題

- 1) 橋戸広大, 佐藤雅介, 磯貝知範, 斉藤小夏, 水口由希子, 前田拓郎, 藤田崇史, 大塚英稔, 勅使河原大輔, 岩瀬直樹, 猪野照夫, 金谷芳彦, 高柳育行, 藤澤政紀, 光学印象によるCAD/CAMクラウンの歯冠形態再現性, 日本補綴歯科学会東関東支部総会・第21回学術大会, 2018, 2.
- 2) 藤田崇史, 治療義歯を用いて咀嚼機能を改善した全部床義歯症例, 日本補綴歯科学会東関東支部総会・第21回学術大会, 2018, 2.

### E. その他の研究会、講演など

- 1) 藤澤政紀, 咬合のコントロールを考える補綴臨床, 石橋寛二ほてつ同門会 第 6 回学術講演会(盛岡), 2017, 4.
- 2) 斉藤小夏, 日中の咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練が夜間のグラインディングに及ぼす影響, 明海歯科医学会第 32 回学術大会 第 210 回大学院歯学研究科研究発表会, 2017, 6.
- 3) 佐藤雅介, 覚醒時ブラキシズムに対する EMG バイオフィードバック訓練が夜間睡眠時のブラキシズムおよび睡眠の質に及ぼす影響, 明海歯科医学会第 32 回学術大会 第 210 回大学院歯学研究科研究発表会, 2017, 6.
- 4) 藤澤政紀, 顎関節症発症リスクファクターとしての咬合を再考する, 明海大学アメリカンフットボール OB 会学術講演会(坂戸), 2017, 7.
- 5) 藤澤政紀, 咬合のコントロールを考える -咬めない” から “咬みすぎる” まで-, 明海大学同窓会中国ブロック平成 29 年度学術講演会(広島), 2017, 10.
- 6) 藤澤政紀, 臨床の幅を広げる「咬合違和感」と「ブラキシズム」への理解, 明海大学同窓会東北ブロック平成 29 年度学術講演会(盛岡), 2017, 10.

- 7) 橋戸広大, 光学印象による CAD/CAM クラウンの歯冠形態再現性, 明海歯科医学会 第 34 回学術大会第 212 回大学院歯学研究科研究発表会, 2017, 11.
- 8) 藤澤政紀, CAD/CAM クラウンの勘どころ, 石橋寛二ほてつ同門会ベーシックセミナー(盛岡), 2017, 12.

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 藤澤政紀(代表研究者), 佐藤雅介, 岩瀬直樹, 大塚英稔, 田邊憲昌、小見山道、飯田崇、船登雅彦、寺田信幸, 筋電図バイオフィードバック訓練による咀嚼筋痛患者の症状改善に関する多施設研究, 科学研究費助成事業 基盤 B.

### 3. 宮田研究奨励金

- 1) 佐藤雅介, 覚醒時ブラキシズムに対する EMG バイオフィードバック訓練が筋痛の症状改善効果に及ぼす影響, 2017 年度宮田研究奨励金【A】.

# 保存治療学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 横瀬敏志, 門倉弘志. In: 保存修復学 21. 第5版, 田上順次, 奈良陽一郎, 山本一世, 斎藤隆史監修, 永末書店, 京都, 2017年4月
- 2) 横瀬敏志, 小林健二, 中村裕子, 門倉弘志, 市村 葉, 小谷依子, 鈴木瑛子, 山崎崇秀, 上田堯之, 日下洋平, 石岡和仁, 高橋淳哉, 吉川智也, 宍戸健宏, 堀池将司, 大塚隼人, 中込 恵: 保存修復学模型実習指針 2017年度, リュウワ印刷, 埼玉, 2017年9月
- 3) 横瀬敏志, 小林健二, 中村裕子, 門倉弘志, 市村 葉, 小谷依子, 鈴木瑛子, 山崎崇秀, 上田堯之, 日下洋平, 石岡和仁, 高橋淳哉, 吉川智也, 宍戸健宏, 堀池将司, 大塚隼人, 中込 恵: 歯内療法学実習書, リュウワ印刷, 埼玉, 2017年11月

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 門倉弘志, 山崎崇秀, 上田堯之, 日下洋平, 横瀬敏志: ラット頭蓋骨由来初代培養細胞系の骨細胞様細胞分化について. 日本歯科保存学雑誌 60, 128-134, 2017年6月
- 2) Suzuki R, Sakagami H, Amano S, Fukuchi K, Sunaga K, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Shirataki Y, Tomomura M, Masuda Y, Yokose S, Tomomura A, Watanabe H, Okawara M and Matahira Y: Evaluation of biological activity of mastic extracts based on chemotherapeutic indices. *in vivo* 31, 591-598, 2017
- 3) Masuda Y, Yokose S, and Sakagami H: Gene expression analysis of cultured rat-endothelial cells after Nd:YAG Laser irradiation by affymetrix genechip array. *in vivo* 31. 51-54, 2017
- 4) Amano H, Yokose S, Ikeda T, Suzuki K, Teramoto T, Yoshiki S, Yamada S, Sakagami H, Uesawa Y, Masuda Y, Tomomura M, Yokose S, Miyashiro T, Murai J, Takao K, Kanamoto T, Terakubo S, and Kagaya H, : Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of Newly Synthesized Piperic Acid Esters. *Anticancer research*. 37. 6161-6168. 2017
- 5) Ota C, Morisaki H, Nakata M, Arimoto T, Fukamachi H, Kataoka H, Masuda Y, Suzuki N, Miyazaki T, Okahashi N, and Kuwata H. : *Streptococcus sanguinis* noncoding cia-dependent Small RNAs Negatively Regulate Expression of Type IV pilus Retraction ATPase pilT and biofilm Formation. *Infection and Immunity* 86, e00894-17 2018



- 6) Sakagami H, Tsuji M, Tomomura M, Masuda Y, Iwama S, Nakagawa M, Suzuki H, Tanaka K, Abe T, Tamura N, Tomomura A, Yokose S, Takeshima H, Natori T, Horiuchi M, Fujisawa T, Kiuchi Y, Oguchi K, Yasui T, Oizumi H and Oizumi T. : Protection of differentiating neuronal cells from amyloid  $\beta$  peptide-induced injury by alkaline extract of leaves of *sasa senanensis* rehder. *in vivo* 32, 231-239, 2018

### 3. 症例報告

- 1) 中村裕子, 堀池将司, 小林健二, 小谷依子, 日下洋平, 横瀬敏志 : MTA および EMD を応用した意図的再植歯の長期観察症例. 第 38 回日本歯内療法学会 学術大会, 東京, 2017 年 7 月

### C. その他の刊行物など

- 1) 増田宜子, 横瀬敏志, 坂上 宏 : 美味しく食べるための歯の根管治療—根管形態—. *Food Industry*, 59, 52-54, 2017 年 7 月.
- 2) 坂上 宏, 天野 滋, 増田 宜子, 横瀬 敏志, 他 : 解説書 マスティック抽出画分の薬理作用. *Food Industry*, 59, 67-76, 2017 年 9 月

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 横瀬敏志 : 歯科領域における LLLT LLLT 作用と骨代謝(骨再生療法と L.I.B.T.について). 第 29 回日本レーザー治療学会, 東京, 2017 年 6 月
- 2) 横瀬敏志 : 歯科領域のレーザー治療における LLLT 口腔組織の再生療法における LLLT 作用とそのエビデンス. 第 38 回日本レーザー医学会総会, 神奈川, 2017 年 11 月

##### (3) 一般演題

- 1) 上田堯之, 山崎崇秀, 門倉弘志, 横瀬敏志 : ラット歯髓培養細胞の分化に及ぼす Wnt10a と Ectodin の作用について. 第 146 回歯科保存学会春季学術大会, 青森, 2017 年 6 月
- 2) 日下洋平, 小林健二, 小谷依子, 横瀬敏志 : S-PRG フィラー含有ルートキャナルシーラーの骨形成に対するストロンチウムの影響. 第 146 回日本歯科保存学会 2017 年度春季学術大会, 青森, 2017 年 6 月
- 3) 古川敏子, 山崎涼子, 秋葉美萩, 門倉弘志, 山崎崇秀, 上田堯之, 横瀬敏志 : スケーリングと漂白後の痛みに対するレーザーの効果について. 第 35 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2017 年 5 月

- 4) 門倉弘志, 山崎崇秀, 上田堯之, 横瀬敏志: ラット歯髓培養細胞の象牙質形成における Wnt10a と Ectodin の作用について. 第 38 回日本歯内療法学会学術大会, 東京, 2017 年 7 月
- 5) 増田宜子, 坂上 宏, 横瀬敏志: 笹の葉抽出液の歯髓細胞に対する影響について. 第 38 回日本歯内療法学会学術大会, 東京, 2017 年 7 月
- 6) 坂上 宏, 友村美根子, 増田宜子: 明海大学歯科医学総合研究所(M-RIO)の設立ー有害作用の少ない口腔疾患治療薬の開発をめざして. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 長野, 2017 年 9 月
- 7) 大田千明, 森崎弘史, 増田宜子, 他: *Streptococcus sanguinis* のノンコーディング csRNA は IV 型線毛 pilT 遺伝子の発現を負に制御し、バイオフィルム形成を抑制する. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 長野, 2017 年 9 月
- 8) 門倉弘志, 山崎崇秀, 上田堯之, 横瀬敏志: 半導体レーザー照射がヒト歯根膜細胞の生物活性におよぼす影響について, 第 29 回日本レーザー歯学会, 新潟, 2017 年 9 月
- 9) 山崎涼子, 古川敏子, 秋葉美萩, 横瀬敏志: スケーリングにおける Er: YAG レーザー応用の可能性を探る (歯科衛生士の立場から). 第 29 回日本レーザー歯学会学術大会, 新潟, 2017 年 9 月
- 10) 日下洋平, 小林健二, 小谷依子, 大塚隼人, 横瀬敏志: S-PRG フィラー含有根管充填用シーラーから放出されるストロンチウムイオンの骨形成への影響. 第 147 回日本歯科保存学会秋季学術大会, 盛岡, 2017 年 10 月
- 11) 中村裕子, 宍戸健宏, 吉川智也, 横瀬敏志: Enamel Matrix Derivative の血管新生・組織誘導効果. 第 147 回日本歯科保存学会秋季学術大会, 盛岡, 2017 年 10 月

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 坂上 宏, 鈴木龍一郎, 増田宜子, 他: マスチック画分の生物活性の化学療法係数に基づいた再評価. 第136回日本薬理学会関東部会, 東京, 2017年7月
- 2) 坂上 宏, 植沢芳広, 増田宜子, 他: Rピペリン酸エステル誘導体の構造活性相関: 腫瘍選択性とアポトーシス誘導. 第137回日本薬理学会関東部会, 東京, 2017年10月
- 3) 坂上 宏, 岩間聡一, 増田宜子, 他: ササヘルスのアミロイドペプチド誘発性神経細胞傷害に対する保護作用. 第137回日本薬理学会関東部会, 東京, 2017年10月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 門倉弘志：Osteogenesis と Dentinogenesis に及ぼすレーザーの作用 エピジェネティクスからレーザーの作用を考える．第 20 回 Er:YAG レーザー臨床研究会学術大会，京都，2017 年 7 月
- 2) 日下洋平：S-PRG フィラー含有根管充填用シーラーの骨形成誘導能に対する影響．明海歯科医学会第 34 回学術大会，坂戸，2017 年 11 月
- 3) 上田堯之：Diffusion chamber を用いたラット歯髄培養細胞の Dentinogenesis の解析．明海歯科医学会第 34 回学術大会，坂戸，2017 年 11 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 横瀬敏志：骨細胞の機能を利用したレーザー刺激による顎骨再生医療の開発．学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C)，2016-2018
- 2) 増田宜子：レーザー照射による歯髄-血管・神経相互作用に及ぼす影響．学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C)，2017
- 3) 門倉弘志：Canonical Wnt 経路と歯髄創傷治癒．学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C)，2016-2018

## オーラル・リハビリテーション学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Nana IIZUKA, Takuya IIKURA, Masumi OZAWA, Jun KUSAMA, Chihiro OTAKE, Satoru MATSUDA, Effect of pH on tooth whitening, 明海歯科医学会 明海歯科医学雑誌 47(1), 77-82, 2018, 2

#### 2. 総説

- 1) 松田 哲, 「痛み」を軽減するインプラント治療-麻酔の基本と術前術後の患者対応から- クインテッセンス社 デンタルインプラントロジー Vol24 NO.5, 28-42, 2017, 8
- 2) 松田 哲, インプラント摘出用キット フィクスチャーリムーバーキット, デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND 第43巻 第3号, 146-150, 2018, 2
- 3) 雨森洋貴, 松田 哲, 臨床スクエアケースプレ&アドバイス 歯周病患者に水圧挙上術を併用した上顎臼歯部のインプラント治療, デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND 第42巻 第8号, 76-83, 2017, 8

### C. その他の刊行物など

- 1) 松田 哲, インプラントトラブル対応について, 明海大学歯学部東京都同窓会誌, 35-39, 2018, 3

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

##### (3) 一般演題

- 1) 鈴木玲爾, 松本篤樹, 上皮結合組織移植術とプロビジョナルレストレーションを応用し上顎前歯部にインプラント審美修復を行った一症例, International Congress of Oral Implantologists 日本支部 法人設立記念総会・学術大会 2017, 東京, 2017, 7
- 2) Masayoshi Yoshikawa Mitsuo Kakei and Yumiko Kanda, The demonstration of detrimental effects of 0.4%SnF<sub>2</sub> gel toothpastes using transmission electron microscopy, Biomi14<sup>th</sup> International symposium on biomineralization, Tsukuba, Japan. 2017, 10

#### 2. 全国学会

##### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 松田 哲, 臨床家のためのデンタルスーチャリング, 日本顎咬合学会 2017年 関東甲信越支部 学術大会 東京, 2017, 12

(3) 一般演題

- 1) 吉川正芳、笥 光夫、0.4%SnF<sup>2</sup> gel のエナメル質結晶に及ぼす影響について、第76回日本矯正歯科学会学術大会・総会、札幌、2017,10

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 中村 裕子, 宍戸健宏, 吉川智也, 横瀬 敏志, Enamel Matrix Derivativeの血管新生・組織誘導効果, 第147回日本歯科保存学会(盛岡), 2017,10
- 2) 中村 裕子, 堀池 将司, 小林 健二, 小谷 依子, 日下 洋平, 横瀬敏志, "MTAおよびEMDを応用した意図的再植歯の長期観察症例", 第38回日本歯内療法学会・学術大会(東京), 2017,7
- 3) 小澤万純, 草間淳, 松田 哲, X線を用いたインプラント印象時の誤差に関する検討, 日本口腔インプラント学会 第37回関東・甲信越支部学術大会, 2018, 2
- 4) 小澤万純, 飯塚奈々, 飯倉拓也, 草間淳, 大竹千尋, 松田 哲, エックス線を用いたインプラント印象時の誤差に関する検討, 日本顎咬合学会 第35回 日本顎咬合学会 学術大会・総会 東京, 2017, 6
- 5) 飯塚奈々, 飯倉拓也, 小澤万純, 草間淳, 大竹千尋, 松田 哲, ホワイトニングにpHが及ぼす影響, 日本顎咬合学会 第35回 日本顎咬合学会 学術大会・総会 東京, 2017, 6
- 6) 重田浩貴, 長沢悠子, 江田義和, 松本篤樹, 栗田智, 尾松 純, 和田賢一, 日比野靖, 中畠裕, レジン添加型ガラスイオノマーセメントの機械的性質に及ぼすコーティング材の影響, 第70回日本歯科理工学会学術講演会, 2017,10
- 7) 飯倉拓也, 草間淳, 小澤万純, 飯塚奈々, 大竹千尋, 松田 哲, 改良型口唇移動術を用いてガミースマイルの治療を行なった一症例, 日本顎咬合学会 第35回 日本顎咬合学会 学術大会・総会 東京, 2017,6
- 8) 草間淳, 小澤万純, 飯塚奈々, 飯倉拓也, 大竹千尋, 松田 哲, 矯正治療後の歯肉退縮に根面被覆を行なった一症例, 日本顎咬合学会 第35回 日本顎咬合学会 学術大会・総会 東京, 2017,6
- 9) 日比野靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 江田義和, 松本篤樹, 尾松純, 栗田智, 和田賢一, 中畠裕, 試作CAD/CAM冠用レジンプロックの曲げ強さ, 第70回日本歯科理工学会学術講演会, 2017,10
- 10) 草間淳, 小澤万純, 松田 哲, 歯槽骨内に深く埋入、長期間放置されたインプラント除去にコンピュータガイドドサージェリーを応用した一症例, 日本口腔インプラント学会 第37回関東・甲信越支部学術大会, 2018, 2
- 11) 鈴木玲爾, 松本篤樹, 審美修復治療における歯周形成外科の役割, 第35回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2017,6

- 1 2) 本木萌洋, 浅見健介, 川邊好弘, 溝部健一, 荒木久生, 新来患 (80歳以上) の治療前後における欠損状態に関する統計的観察, 第30回日本口腔診断学会学術大会, 北海道, 2017, 9
- 1 3) 松本和也, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 診査・診断に基づきフルマウスリコンストラクションを行った一症例, 第35回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2017, 6
- 1 4) 松本和也, 松本篤樹, 鈴木玲爾, 診査診断に基づき咬合再構成を行った一症例, 第35回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2017, 6

E. その他の研究会、講演など

- 1) 松田 哲, お口の中だけでは終わらない歯周病と体の病気, 練馬区保健所, 2017, 12
- 2) 松田 哲, 患者の痛みをコントロールする-15年のインプラント治療を通じたトラブル対応-, 株式会社 GC GC インプラントミーティング 2018 in 東京, 東京, 2018, 1

# 摂食嚥下リハビリテーション学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) よくわかる高齢者歯科学. 永末書店. 項目：口腔保健とヘルスプロモーション  
編者：佐藤裕二、植田耕一郎、菊谷武
- 2) 手歯科医師のための海外留学指南. 口腔保健協会. 項目：シドニー大学留学経験  
編者：北川昇、萩原芳幸

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Morita Y, Ishikawa K, Nakano M, Wakabayashi H, Yamauchi K, Abe F, Ooka T and Shouji Hironaka, Effects of lactoferrin and lactoperoxidase-containing food on the oral hygiene status of older individuals: A randomized, double blinded, placebo-controlled clinical trial, *Geriatrics & Gerontology International*, 2016, 44, 237-243
- 2) 高橋摩理、高橋真朗、弘中祥司、内海明美、大岡貴史, 幼児の食事に関する問題の検討 自閉症スペクトラム障害児と保育園児の比較, *小児歯科学雑誌*, 2017, 55, 11-17
- 3) Tomita K, Murakami K, Takahashi M, Ooka T, Hironaka S, Examination of factors affecting the intraoral perception of object size: a preliminary study, *J Oral Rehabil*, 2017, 44, 237-243

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Ooka T, Actual condition of nutrition intake in very-low-birthweight infant, 7th European Society of Swallowing Disorders Congress, 2017, 8

### 2. 全国学会

#### (1) 特別講演（教育講演）

- 1) 大岡貴史, 訪問歯科診療における口腔機能の見方と対応について, 日本補綴歯科学会, 浦和, 2018, 2

#### (2) シンポジウム

野嶋琢也, 大岡貴史, 口腔機能低下症改善のためのシリアスゲーム, イノベー

シオンジャパン 2017, 幕張, 2017, 9

(3) 一般演題

- 1) 高野梨沙, 大岡貴史, 安井利一, 極超低出生体重児の栄養摂取状態について (第一報) 初診時の状態, 平成 29 年度小児保健研究学術大会, 大阪, 2017, 5
- 2) 大岡貴史, 高野梨沙, 安井利一, 極超低出生体重児の栄養摂取状態について (第二報) 機能と栄養状態の推移, 平成 29 年度小児保健研究学術大会, 大阪, 2017, 5
- 3) 大岡貴史, 高野梨沙, 安井利一, 非接触舌・口腔運動認識システムを用いた口腔機能向上プログラムの試み, 平成 29 年度日本口腔衛生学会学術大会, 山形, 2017, 6
- 4) 大岡貴史, 特別養護老人ホームにおける経口摂取状況の検討, 平成 29 年度日本老年歯科医学会学術大会, 2017, 6
- 5) 田村暢章, 竹下玲, 大岡貴史, 小林真彦, 龍田恒康, 竹島浩, 安井利一, 介護施設における歯学部早期体験臨床実習に対する学生アンケート調査, 平成 29 年度日本老年歯科医学会学術大会, 2017, 6
- 6) 大岡貴史, 患者体位による口腔内吸引の吸引量の変化における基礎的研究, 平成 29 年度日本口腔ケア学会学術大会, 沖縄, 2017, 6
- 7) 田村暢章, 松本勝, 竹下玲, 大岡貴史, 小林真彦, 北邦宏, 安井利一, 竹島浩, 西條光雅, 岡崎由佳, 野澤一朗太, 本学歯学部における口腔ケア実習に対するアンケート調査, 平成 29 年度日本口腔ケア学会学術大会, 沖縄, 2017, 6
- 8) 大岡貴史, 離乳期の自閉症モデルラットにおける食餌選択性の変化, 平成 29 年度日本障害者歯科学会学術大会, 福岡, 2017, 10
- 9) 高野梨沙, 大岡貴史, 安井利一, 患者体位と吸引位置による口腔内吸引の吸引量の変化, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張, 2017, 10
- 10) 内田淳, 大久保典子, 戸塚梨菜, 飯野さかえ, 黒木洋祐, 那須大介, 三野元崇, 大岡貴史, 植田耕一郎, 経鼻経管栄養を確保するための対応が経口摂取の改善につながったと思われる知的障害者の一例, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張, 2017, 10

3. 地方会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 大岡貴史, ライフステージを意識した摂食支援, 度第 5 回特別支援学校連携懇話会, 浦安, 2018, 2

(3) 一般演題

- 1) 大岡貴史, 小児在宅歯科診療において摂食嚥下リハビリテーションを行った1例, 平成29年度埼玉県歯科医学会, 浦和, 2017, 12



## E. その他の研究会、講演など

- 1) 大岡貴史, 多職種連携による摂食嚥下リハビリテーションの推進, 埼玉県摂食嚥下研究会第27回講演会, 2017, 6
- 2) 大岡貴史, 地域における摂食嚥下リハビリテーション, 明海大学歯学部同窓会, 2017, 6
- 3) 大岡貴史, フレッシュマンセミナー特別講義, 城西大学薬学部, 2017, 6
- 4) 大岡貴史, 保育所・幼稚園歯科保健指導者研修会, 多摩府中保健所, 2017, 7
- 5) 大岡貴史, 障がい者歯科研修会, 福井県歯科医師会, 2017, 7
- 6) 大岡貴史, 特別支援学校教職員研修会, さいたま市教育委員会, 2017, 7
- 7) 大岡貴史, 在宅小児における歯科診療, 平成29年度小児在宅医療研究会, 2017, 7
- 8) 大岡貴史, 特別支援学校栄養技師研修会, 埼玉県学校栄養士研究会, 2017, 8
- 9) 大岡貴史, 彩の国大学市民公開講座, 彩の国大学コンソーシアム, 2017, 9
- 10) 大岡貴史, 幼稚園保育園職員研修会, 東京都幼稚園保育園協会, 2017, 10
- 11) 大岡貴史, 在宅医療実践研修会, 福井県医師会, 2017, 11
- 12) 大岡貴史, 口腔ケア研修会, 北足立歯科医学会, 2017, 11
- 13) 大岡貴史, 調布市保育園全体研修会, 調布市子ども保健課, 2017, 12
- 14) 大岡貴史, 前橋市摂食・嚥下研究会, 前橋市歯科医師会, 2018, 2
- 15) 大岡貴史, 台東区地区薬剤師研修会, 東京都薬剤師会, 2018, 2
- 16) 大岡貴史, 明海大学歯学部同窓会学術講演会, 明海大学歯学部同窓会九州支部, 2018, 2
- 17) 大岡貴史, 大岡貴史, 小児・障がい児への摂食指導について, 埼玉県摂食嚥下研究会第29回講演会, 2018, 2
- 18) 大岡貴史, 摂食嚥下勉強会, 所沢市歯科医師会, 2018, 3
- 19) 大岡貴史, 川口摂食嚥下研究会, 川口歯科医師会, 2018, 3

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 報告書, 大岡貴史, 基盤研究(C), 自閉症モデルラットにおける離乳期の味覚経験と摂食行動との関連, 科学研究費補助金, 基盤研究(C), 2016, 3

### 2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 8020 推進財団研究助成

### 3. 宮田研究奨励金(A)および(E)

# 病態診断治療学講座

病 理 学 分 野

薬 理 学 分 野

総合臨床歯科学分野

歯科放射線学分野

口腔顎顔面外科学分野(Ⅰ)

口腔顎顔面外科学分野(Ⅱ)

高齢者歯科学分野

歯科麻酔学分野

歯科法医学分野

# 病理学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 井上 孝, 田中昭男, 長谷川博男 編集主幹 草間 薫, 菊池建太郎, 徳永ハルミ他 編集委員: 病理学総論にもとづく口腔病理学 第2版. 永末書店, 東京, 69-123, 2018
- 2) 高木 實, 高田 隆, 豊澤 悟 編 草間 薫, 菊池建太郎 他 著: 口腔病理アトラス 第3版. 文光堂 175-204, 2018

## B. 学術論文

### 2. 総説

- 1) Kikuchi K, Inoue H, Miyazaki Y, Ide F, Kojima M, Kusama K: Epstein-Barr virus (EBV)-associated epithelial and non-epithelial lesions of the oral cavity. *Jpn Dent Sci Rev* **53**, 95-109, 2017

### 3. 症例報告

- 1) 岡田 宗久, 重松 久夫, 坂下 英, 菊池 建太郎, 草間 薫, 坂下 英明: 舌癌の経過観察中に男性乳癌と下顎歯肉癌が発生した重複癌の1例. *日本口腔外科学会雑誌* **63**, 25-29, 2017
- 2) Yamashita A, Saito T, Akaike K, Arakawa A, Yoshida A, Kikuchi K, Sugitani M, Yao T: Mast cell sarcoma of the sternum, clonally related to an antecedent germ cell tumor with a novel D579del KIT mutation. *Virchows Arch* **470**, 583-588, 2017
- 3) Kikuchi K, Nagao T, Ide F, Takizawa S, Sakashita H, Tsujino I, Li TJ, Kusama K: Palatal Polymorphous Adenocarcinoma with High-Grade Transformation: A Case Report and Literature Review. *Head Neck Pathol*, 1-9, 2018
- 4) Ide F, Kikuchi K, Sakashita H, Muramatsu T, Kusama K: Unusual findings in common peripheral ossifying fibromas: transepithelial elimination and epithelial inclusion. *Histopathology* **70**. 834-837, 2017

## C. その他の刊行物など

- 1) Ide F, Kikuchi K, Kusama K: Osteofibrous Dysplasia Versus Ossifying Fibroma: Semantic Confusion. *J Oral Maxillofac Surg* **75**, 885, 2017
- 2) Ide F, Kikuchi K, Kusama K, Muramatsu T: An old report of idiopathic gingival papillokeratosis with crypt formation. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* **123**. 515, 2017

- 3) Ide F, Kikuchi K, Kusama K: Osteofibrous Dysplasia Versus Ossifying Fibroma: Semantic Confusion. *Oral and Maxillofacial Surgery* **75**, 885, 2017
- 4) Ide F, Kikuchi K, Kusama K: Adenomatoid odontogenic tumor revisited. *Med Hypotheses* **104**. 35, 2017
- 5) Ide F, Matsumoto N, Kikuchi K, Kusama K: Desai et al on Multiple Calcifying Hyperplastic Dental Follicles: A Critique. *J Oral Maxillofac Surg* **75**: 2039-2040, 2017
- 6) Ide F, Matsumoto N, Kikuchi K, Kusama K: Hybrid central odontogenic fibroma/central giant cell lesion: A missing report. *Head Neck Pathol*. doi: 10.1007/s12105-017-0863-5. [Epub ahead of print], 2018
- 7) Ide F, Muramatsu T, Miyazaki Y, Kikuchi K, Kusama K: Calcifying odontogenic cyst showing a varied epithelial lining an additional case with implication for the divergent differentiation capacity of the cyst epithelium. *Head Neck Pathol*. doi: 10.1007/s12105-018-0899-1. [Epub ahead of print], 2018

#### D. 学会発表

##### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 菊池建太郎, 星野 都, 徳永ハルミ, 坂下 英明, 草間 薫: 角化嚢胞性歯原性腫瘍由来型の原発性骨内扁平上皮癌と考えられた 1 例. 106 回日本病理学会総会, 2017

##### 3. 地方会

##### (3) 一般演題

- 1) 星野 都, 金田 朋久, 徳永 ハルミ, 宮崎 裕司, 菊池 建太郎, 草間 薫: 口腔領域の角化異常に関する研究 角化亢進をみる口腔粘膜上皮における filaggrin および loricrin 発現について. 明海歯科医学会第 34 回学術大会, 2017

# 薬理学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) "Minoda A, Mizoguchi N, Kobayashi M, Suda N and Muramoto K.", Intracortical signal processing of periodontal ligament sensations in rat., *Neuroscience*, 355:212-224., 2017, 6
- 2) "Uesawa Y, Sakagami H, Okudaira N, Toda K, Takao K, Kagaya H, Sugita Y.", Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of Cinnamic Acid Phenethyl Esters., *Anticancer Res.* 38(2):817-823., 2018, 2
- 3) "Sakagami H, Okudaira N, Uesawa Y, Takao K, Kagaya H, Sugita Y.", Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of 2-Azolylychromones., *Anticancer Res.* 38(2):763-770., 2018, 2
- 4) "Wada T, Maruyama R, Irie Y, Hashimoto M, Wakabayashi H, Okudaira N, Uesawa Y, Kagaya H, Sakagami H.", In Vitro Anti-tumor Activity Azulene Amide Derivatues., *In Vivo In press*, 2018, 3
- 5) "Uehara M, Minemura H, Ohno T, Hashimoto M, Wakabayashi H, Okudaira N, Sakagami H.", In Vitro Antitumor Activity of Alkylaminoguaiazulenes., *In Vivo In press*, 2018, 3
- 6) "Sasaki A, Hasegawa N, Adachi K, Sakagami H, Suda N.", *Journal of Neurophysiology*, 118(4):2289-2295., 2017, 7

### 2. 総説

- 1) "Sessle BJ, Adachi K, Yao DG, Suzuki Y, Lavigne GL." Orofacial Pain and Sleep., *Contemporary Oral Medicine*, Chapter 40-1, 1-27, 2017, 12

## C. その他の刊行物など

- 1) 溝口尚子, 食べる意欲に欠かせない風味認識の中樞神経機構の解明, *アグリバイオ*, 第1巻8号, 78-79., 2017, 8

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) "Mizoguchi N, Minoda A, Suda N, Muramoto K", An intracortical connection among somatosensory areas makes higher complementary processing for orofacial sensation in rat., *Society for Neuroscience 47th annual meeting (米国・ワシントンDC)*, 2017, 11
- 2) "Tsuchiya T, Hasegawa N, Suda N, Adachi K". Alternative therapeutic approach to

attenuate orthodontic pain –CO2 laser therapy., Society for Neuroscience 47th annual meeting (米国・ワシントンDC),2017,11

3) “Hasegawa N, Tsuchiya T, Suda N, Adachi K”. Effects of TRPV1 receptor long term antagonism on orthodontic force induced pain., Society for Neuroscience 47th annual meeting (米国・ワシントンDC),2017,11

4) “Adachi K, Odai R, Lavigne GL, Sessle BJ”. Surgical pain increased orofacial motor excitability during sleep., Society for Neuroscience 47th annual meeting (米国・ワシントンDC),2017,11

## 2. 全国学会

### (1) 特別講演 (教育講演)

1) 奥平准之, 食品成分由来の発がん物質ヘテロサイクリックアミンのレトロトランスポジション, 日本食品免疫学会第13回学術大会 (JAFI2017), 2017, 11

### (3) 一般演題

1) 田島雅道, 骨芽細胞に取り込まれた bisphosphonates はリソソームに集積する, 第59回歯科基礎医学会学術大会, 松本, 2017, 9

2) 安達一典, 睡眠時末梢刺激応答性に関与する因子の同定と受容体機構の検討, 明海歯科医学会第32回学術大会, 坂戸, 2017, 6

3) 土屋隆子, 長谷川尚也, 安達一典, 須田直人, レーザー照射による矯正痛の制御, 第59回歯科基礎医学会学術大会, 松本, 2017, 9

4) 土屋隆子, 長谷川尚也, 安達一典, 須田直人, 矯正治療に伴う疼痛に対する動物モデルを用いた疼痛制御法の探索: CO<sub>2</sub> レーザー照射による効果, 第76回日本矯正歯科学会, 札幌, 2017, 10

5) 長谷川尚也, 佐々木会, 土屋隆子, 安達一典, 須田直人, 矯正痛モデルへの酸性非ステロイド性抗炎症薬と TRPV1 拮抗薬の長期投与の影響, 第76回日本矯正歯科学会, 札幌, 2017, 10

## E. その他の研究会、講演など

1) 奥平准之,  $\beta$ アミロイドによる LINE-1 レトロエレメントの活性化機構, 2017年度特定非営利活動法人ヒューマンセンター21(平成29年度若手研究者育成の為の研究助成), 2017, 11

2) 長谷川尚也, 佐々木会, 土屋隆子, 安達一典, 須田直人, 矯正治療に伴う疼痛モデルを用いた鎮痛剤の反復投与における効果, 第11回三叉神経領域の感覚-運動統合機能研究会, 大坂, 2017, 12

3) 土屋隆子, 長谷川尚也, 安達一典, 須田直人, 矯正治療に伴う疼痛に対する炭酸ガスレーザーの効果-第2報-, 第11回三叉神経領域の感覚-運動統合機能研究会,

大坂, 2017, 12

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 溝口尚子, 超高齢社会に貢献する風味形成機構解明への基礎的アプローチ, 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C), 2017, 6

# 総合臨床歯科学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 荒木久生：10. F バニッシュ歯科用 5%. In：象牙質知覚過敏症 第3版，富士谷盛興・千田 彰編，医歯薬出版，東京，2017年10月.
- 2) Gomi K, Kurihara H, Yoshie H, Kawaguchi H, Sugano N, Yoshino T, Sakagami R, Kodama T, Wakabayashi K, Araki H and Uchida T: JSP clinical practice guideline for the periodontal treatment, 2015, Ishiyaku Publishers, Tokyo, 2017年12月
- 3) 鈴木正二：第2章 患者の診察. In：有病者歯科学 第1版，今井 裕，岩渕 博監修永末書店出版，京都，54-58、2018年2月

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 坂下英明，井上勝元，重松久夫，福田正勝，奥 結香，瀧澤将太，川本幸寛，大山嘉人，鈴木正二：文献からみた明治5年から昭和47年の間の我が国口腔外科の歴史（Ⅲ）日本歯科医学史学会誌，123，202-214，2017年9月.
- 2) 坂下英明，井上勝元，重松久夫，福田正勝，奥 結香，瀧澤将太，川本幸寛，大山嘉人，鈴木正二：下顎骨顎矯正手術の発展と歴史（Ⅰ）：Ped Oral Maxillo Surg, 27, 127-146, 2017年12月.
- 3) 坂下英明，井上勝元，重松久夫，福田正勝，奥 結香，瀧澤将太，川本幸寛，大山義人，鈴木正二：最新歯科学全書についての考察. 日本歯科医学史学会誌，124，234-256，2018年3月.
- 4) Murakami Y, Kawata A, Fujisawa S: Expression of Cyclooxygenase-2, Nitric oxide synthase 2 and heme oxygenase-1 mRNA induced by bis-eugenol in RAW264.7 cells and their antioxidant activity determined using the induction period method. In Vivo. 31: 819-831, 2017.
- 5) Kawata A, Murakami Y, Suzuki S, Fujisawa S: Anti-inflammatory activity of  $\beta$ -carotene, lycopene and tri-n-butylborane, a scavenger of reactive oxygen species. In Vivo. 32: 255-264, 2018.

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 村上幸生、川田朗史、岡田典久、大井優一、丸山直美、松村正晃、田所瑞希、



香村亜希子、岡田知之、渡辺裕美, 明海大学歯学部附属病院における3年間の臨床研修歯科医の実態調査, 第30回日本口腔診断学会. 札幌, 2017年9月

- 2) 川田朗史、村上幸生、岡田典久、大井優一、松村正晃、丸山直美、田所瑞希、香村亜希子、岡田知之、渡辺裕美, 過去8年にわたる明海大学歯学部附属病院ドライマウス外来の来院患者動向における臨床疫学的調査. 第30回日本口腔診断学会, 札幌, 2017年9月
- 3) 元木萌洋, 浅見健介, 川邊好弘, 溝部健一, 荒木久生: 新来患者(80歳以上)の治療前後における欠損状態に関する統計的観察. 第30回日本口腔診断学会, 札幌, 2017年9月
- 4) 川田朗史、村上幸生、大井優一、丸山直美、松村正晃: 明海大学歯学部附属病院における5年間の臨床研修歯科医の実態調査. 第10回日本総合歯科学会, 新潟, 2017年10月

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 鈴木正二: 医療安全. 第9回埼玉県歯科医師会・明海大学歯学部共催 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, さいたま, 2017年10月.
- 2) 村上幸生: 歯科医師臨床研修制度, 研修目標, 研修方略, 研修評価. 第9回埼玉県歯科医師会・明海大学歯学部共催 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, さいたま, 2017年10月.
- 3) 川田朗史: KJ法. 第9回埼玉県歯科医師会・明海大学歯学部共催 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, さいたま, 2017年10月.

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 村上幸生: 抗酸化性フェノール関連化合物による酸化還元感受性転写因子の活性化制御機構を探る. 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C), 2017年.

## 歯科放射線学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 金田 隆,久山佳代,奥村泰彦,小澤智宣 他,Case Based Review 画像診断に強くなる 顎口腔領域の疾患 読影ポイントから病理診断,治療方針まで(永末書店)2017,4: 共著
- 2) 岡野友宏,小林 馨,有地榮一郎,奥村泰彦 他,第6版歯科放射線学(医歯薬出版株式会社)2018,2: 共著

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) "Yusei OTAKA, Yasuo HARATA, Maki IZAWA, Atsushi IWAWAKI, Ruri ASAMI, Hideki SAKA, Yasuhiko OKUMURA", On the Safe Use of Portable Intraoral X-ray Units in Large-Scale Disasters, JAPANESE JOURNAL OF ORAL DIAGNOSIS/ORAL MEDICINE(日本口腔診断学会雑誌),2017,9
- 2) 芝 規良,井澤真希,小澤智宣,高橋伸年,原田康雄,岸田尚樹,齋藤圭輔,奥村泰彦,イメージングプレートを用いたパノラマ画像画質と線量,明海歯科医学 46(2)117-131,2017,7
- 3) 齋藤嘉大,高橋伸年,井澤真希,小澤智宣,桶田賢次,浅見瑠璃,齋藤圭輔,奥村泰彦,Multi-detector Computed Tomography を使用したボリュームレンダリング法における仮想顔貌 3D モデル構築に関する基礎研究,明海歯科医学 46(2)99-110,2017,7
- 4) 岸田尚樹,井澤真希,小澤智宣,高橋伸年,原田康雄,芝 規良,齋藤圭輔,奥村泰彦,大照射野歯科用コーンビーム CT 装置での患者被ばく量の検討,明海歯科医学 47(1)1-10,2018,2
- 5) 桶田賢次,小澤智宣,井澤真希,齋藤圭輔,高橋伸年,原田康雄,奥村泰彦,口内法デジタルエックス線撮影に使用される IP の物理学的評価に関する研究,明海歯科医学 47(1)11-19,2018,2
- 6) 鈴木達也,井澤真希,小澤智宣,高橋伸年,齋藤嘉大,齋藤圭輔,岩脇淳志,奥村泰彦,CBCT を用いた下顎切歯管の成長発育に対する周囲組織の影響,明海歯科医学 47(1)20-32,2018,2

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) "Atsushi IWAWAKI, Yusei OTAKA, Ruri ASAMI, Yasuhiko OKUMURA, Hideki SAKA", "The Relationship between Exposure Dose and Phantom size at the time of Using Portable X-Ray Unit.", 10th International Symposium Advances in Legal Medicine (Germany ; Dusseldorf ; 2017.9.11-15), 2017, 9

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 大高祐聖、原田康雄、井澤真希、浅見瑠璃、坂 英樹、奥村泰彦、携帯型口内法エックス線装置による手指被曝と後方散乱線除去用シールドの効果、日本歯科放射線学会第58回学術大会・第14回定例総会(鹿児島), 2017, 6
- 2) 浅見瑠璃、網干博文、岩脇淳志、大高祐聖、齊藤嘉大、須藤健太郎、奥村泰彦、坂 英樹、マイクロ X 線 CT を用いた上顎第一小白歯の歯冠部体積変化に着目した年齢推定法、日本法歯科医学会第11回学術大会(千葉; 浦安), 2017, 11

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 小澤智宣、井澤真希、高橋伸年、長谷川彰彦、奥村泰彦、クラウド型画像閲覧システム Super Exlear を使用した学生トレース実習の試み、日本歯科放射線学会第226回関東地方会(埼玉; 大宮), 2018, 1

E. その他の研究会、講演など

- 1) 大高祐聖, "携帯型歯科用 X 線撮影による被曝と防護", 埼玉県歯科医師会平成28年度身元確認研修会, 2017, 4
- 2) 奥村泰彦、高橋伸年、小澤智宣、大高祐聖、芝 良則、齊藤嘉大、齋藤圭輔、岸田尚樹、桶田賢次、放射線って何? 体の中が探検できるんだ!, 子ども大学にしているま(埼玉、坂戸), 2017, 9

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 龍田恒康 (共著), **Step by step** で みえる・わかる 成功するインプラント治療の基本原則 これから始めたい人・トラブルをなくしたい人のために, ヒョーロン・パブリッシャーズ刊, 2017年8月21日
- 2) 嶋田 淳 (段建民 訳): 移植牙手技中的、人民軍医出版社 (中国語)、2017年1月.

B. 学術論文

1. 原著

- 1) “Harutsugi ABUKAWA , Michihide KONO , Hayato HAMADA , Ayako OKAMOTO , Takafumi SATOMI , Daichi CHIKAZU”. Indications of Potassium Titanyl Phosphate Laser Therapy for Slow-Flow Vascular Malformations in Oral Region, J Craniofac Surg, 2017,5
- 2) “Harutsugi ABUKAWA, Takshi OGAWA, Michihide KONO, Toshiyuki KOIZUMI, Yoko KAWASE-KOGA, Daichi CHIKAZU”. Intravenous Dexamethasone Administration Before Orthognathic Surgery Reduces the Postoperative Edema of the Masseter Muscle: A Randomized Controlled Trial. J Oral Maxillofac Surg, 2017,6
- 3) “Ohyama Y, Ito J, Kitano VJ, Shimada J, Hakeda Y”. The polymethoxy flavonoid sudachitin suppresses inflammatory bone destruction by directly inhibiting osteoclastogenesis due to reduced ROS production and MAPK activation in osteoclast precursors. PLoS One. 2018 Jan 17
- 4) 浦 啓修, 森 一将, 藤原 敬子, 田草川 徹, 小谷田 貴之, Kitano F. V. Jose, 川口 祥子, 大山 洋子, 青木 竜平, 園川 拓哉, 小林 真彦, 田村 暢章, 龍田 恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳: 当科における外科矯正手術の臨床統計学的検討, 明海歯科医学 46 , 64-70 2017

3. 症例報告

- 1) 森 一将, 藤原敬子, 嶋田 淳: **Methotrexate** に起因したと考えられた難治性舌潰瘍の1例. 明海歯科医学雑誌 46 86-90 2017
- 2) 藤原 敬子, 森 一将, 浦 啓修, 川口 祥子, Kitano Flores Victor Jose, 嶋田 淳: 唾液腺腫瘍 63 例の臨床的検討, 明海歯科医学 46 ; 69-73, 2017
- 3) 八木原 一博, 石井 純一, 桂野 美貴, 土田 絵梨, 岡村 武志, 松木 繁男, 原口 美穂子, 石川 文隆, 柳下 寿郎, 齋藤 喬, 濱畑 淳盛, 森 一将, 別府 武,

坂本 裕彦:骨吸収抑制薬関連顎骨壊死(ARONJ)が疑われた下顎骨中心性癌の1例.  
埼玉県医学会雑誌 52 卷 1 号 . 327-332 2017

- 4) "Toru TAKUSAGAWA , Shoko KAWAGUCHI , Masahiko KOBAYASHI ,Takuya SONOKAWA , Victor Jose KITANO FLORES, Syumei YOSHIKAWA , Nobuaki TAMURA , Tsuneyasu TATSUTA , Akemi KAWAJIRI , Yuichiro OTSUKA , Mikiko MANO, Naoto SUDA, Hiroshi TAKESHIMA, Jun SHIMADA", Perioperative Management of a Patient with Middle Cranial Fossa Arachnoid Cysts, 明海歯科医学, 2017, 9

#### D. 学会発表

##### 1. 国際学会

###### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Jun SHIMADA, Safe and Easy Sinus Lifting Technique AAID's 2017 Annual Conference 2017.10.11, San Diego, USA

###### (2) シンポジウム

- 1) "Harutsugi ABUKAWA", Progressive condylar resorption: diagnostic process, imaging, and functional considerations. 23rd International Congress of Oral and Maxillofacial Surgery, Hong Kong, 2017, 4

##### 2. 全国学会

###### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) "虻川東嗣", シンプルに行う顎関節手術 (理論的背景を含めて), 第 62 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会, 2017, 10
- 2) 森 一将: 口腔疾患が見えてくる-病理でひもとく口腔疾患-. 第 62 回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会 2017
- 3) 龍田恒康, 日常の抜歯のポイント II, 日本顎咬合学会第 35 回学術大会・総会, 2017 年 6 月 11 日 東京都
- 4) 嶋田 淳: 上顎洞底挙上術の基本術式と併発症対策、第 62 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会, 2017, 10

###### (2) シンポジウム

- 1) 嶋田 淳: 「牛骨由来無機骨再生材料 (Bio-Oss®) を用いた骨造成術」、シンポジウム 7 《口腔外科領域における骨増生用人工材料の現況と未来》、第 62 回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会 2017.10.

###### (3) 一般演題

- 1) "木本 明, 古賀 陽子, 渡辺 正人, 虻川 東嗣, 里見 貴史, 松尾 朗, 近津 大地",

東京医科大学病院における過去 14 年間の顎矯正手術に対する臨床的検討,  
第 27 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 2017,5

- 2) 森 一将, 藤原敬子, 正木喜博, 並木一郎, 嶋田 淳: 肺 MAC 症患者に発生した口内広範囲潰瘍の症例検討. 第 71 回日本口腔科学会学術集会 2017
- 3) 藤原 敬子, 森 一将, 正木 喜博, 嶋田 淳: 当科における口蓋唾液腺腫瘍の臨床的検討. 第 71 回日本口腔科学会学術集会 2017
- 4) 正木喜博, 森 一将, 藤原 敬子, 龍田 恒康, 嶋田 淳: 悪性腫瘍を疑った口蓋多形腺腫の 1 例. 第 71 回日本口腔科学会学術集会 2017
- 5) 森 一将: 口腔癌におけるインターフェロン誘導性ケモカインの機能解析. 明海歯科医学会第 32 回学術大会 2017
- 6) Kazumasa Mori, Miki Hiroi, Jun Shimada, and Yoshihiro Ohmori: , Anti-tumor effects of interferon-inducible chemokines against mouse squamous cell carcinoma cells in mice. The 59th Annual Meeting Japanese Association for Oral Biology 2017,9
- 7) 森 一将, 広井美紀, 嶋田 淳, 大森喜弘: 口腔癌におけるインターフェロン誘導性ケモカインの機能解析. 第 62 回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会 2017
- 8) 藤原敬子, 森 一将, 川口祥子, 松本 聡, 鈴木崇夫, 田草川 徹, 栗原 務, 嶋田 淳: テリパラチド補助療法により良好な治療結果を得た広範囲 MRONJ の 1 例. 第 62 回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会 2017
- 9) 浦 啓修, 森 一将, 青木竜平, 園川拓哉, 小林真彦, 田村暢章, 田草川徹, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳: Le Fort I型骨切り術による上顎骨の前上方向移動が外鼻形態に与える影響. 第 62 回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会 2017
- 1 0) 森 一将, 藤原敬子, 嶋田 淳: 身体表現性障害患者の口腔内セネストパチーに対する治療経験. 第 27 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 2018
- 1 1) 藤原敬子, 森 一将, 嶋田 淳: 白板症患者術前検査で判明した相対性多血症の 1 例. 第 27 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 2018
- 1 2) 園川 拓哉, 田村 暢章, 藤田 耕太郎, 田草川 徹, 龍田 恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳: 当科におけるインプラント患者の臨床的検討. 第 47 回日本口腔インプラント学会学術大会 2017

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 森 一将, 藤原敬子, 嶋田 淳: 口腔内疼痛とカンジダの関与についての検討. 平成 29 年度埼玉県歯科医学大会平成 29 年度埼玉県歯科医学大会 埼玉県 2018
- 2) 藤原敬子, 森 一将, 嶋田 淳: C 型肝炎患者に生じた混合感染. 平成 29 年度埼玉県歯科医学大会平成 29 年度埼玉県歯科医学大会 埼玉県 2018

E. その他の研究会，講演など

- 1) 森 一将：周術期の抗凝固療法～内科，外科，歯科における実際と問題～ 埼玉西部抗凝固療法 UP TO DATE セミナー2017
- 2) 龍田恒康，Session 1 『医科的全身合併症とその対応』，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修インプラントベーシックプログラム 10 日間コース，2017.10.21-22 浦安市
- 3) 龍田恒康，Session 3 『インプラント外科処置における患者の周術期管理とモニタリング』，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修インプラントベーシックプログラム 10 日間コース，2017.12.09-10 浦安市
- 4) 龍田恒康，歯科臨床における薬剤関連顎骨壊死について，本庄市児玉郡歯科医師会学術研修会，2018 年 1 月 21 日 本庄市
- 5) 龍田恒康，Session 5 『インプラント外科処置における合併症とその対策』，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修インプラントベーシックプログラム 10 日間コース，2018.02.24-25 浦安市
- 6) 龍田恒康，歯科臨床における薬剤関連顎骨壊死について，本庄市児玉郡医科・歯科医師会病診連携研修会，2018 年 3 月 16 日 本庄市

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) “虻川東嗣”，骨誘導因子溶出型吸収メッシュプレートの開発：プレクリニカルモデルへの展開，基盤 C, 2016-2018, 代表
- 2) 森 一将：前癌病変および扁平上皮癌における腫瘍関連マクロファージの分化誘導機構と機能解析 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究(C) 2017

3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

- 1) 森 一将：ケモカイン CXCL11 の血管新生抑制を介した抗腫瘍作用の検討. 宮田研究奨励金【A】研究 2017

## 口腔顎顔面外科学Ⅱ

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) “安彦善裕, 伊東博司, 大野純, 菊池健太郎, 草間薫, 坂下英明, 澤田隆, 仙波伊知郎, 槻木恵一“, “第 9 章 嚢胞. In: 口腔病理アトラス第 3 版“, “文光堂, 東京, pp175-204“, 2018, 2
- 2) “今井祐, 岩淵博史, 石垣佳希, 小笠原正, 近藤壽郎, 坂下英明, 佐野公人, 柴原孝彦, 渋谷鑛, 白川正順, 高井良招, 富永和宏“, “有病者歯科学第 1 版“, “永松書店出版, 東京“, 2018, 2
- 3) “鈴木正二“, “(4) 肝・胆道機能検査. In: 有病者歯科学第 1 版“, “永松書店, 東京, pp54-57“, 2018, 2

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) “Ide F, Kikuchi K, Sakashita H, Muramatsu T, Kusama K”, Unusual findings in common peripheral ossifying fibromas: transepithelial elimination and epithelial inclusion. “Histopathology, 70(5), 834-837”, 2017, 4
- 2) “坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 鈴木正二, 下顎骨顎矯正手術の発展と歴史(1), “小児口腔外科, 27(3), 127-146”, 2017, 7
- 3) “坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 鈴木正二”, 文献からみた明治 5 年から昭和 47 年の間の我が国口腔外科の歴史 (Ⅲ), “日本歯科医史学会会誌第 32 巻第 2 号, 202-214”, 2017, 9
- 4) “坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 鈴木正二”, 文献からみた明治 5 年から昭和 47 年の間の我が国口腔外科の歴史 (Ⅳ), “日本歯科医史学会会誌第 32 巻第 2 号, 215-223”, 2017, 9
- 5) “Bando Y, Yamamoto M, Sakiyama K, Sakashita H, Taira F, Miyake G, Iseki S, Owada Y, Amano O”. Retinoic acid regulates cell-shape and -death of E-FABP (FABP5)-immunoreactive septoclasts in the growth plate cartilage of mice. “Histochem Cell Biol, 148(3). 229-238”, 2017, 9
- 6) “Masakatsu Fukuda, Hide Sakashita, Hiroyasu Hayashi, Junya Shiono, Genki Miyake, Yusuke Komine, Fuyoko Taira and Hideaki Sakashita”, Synergism between  $\alpha$ -mangostin and TRAIL induces apoptosis in squamous cell carcinoma of the oral cavity through the mitochondrial pathway, “ONCOLOGY



REPORTS, 38, 3439-3446, 2017”, 2017, 10

- 7) “Fukuda M, Sakashita H, Hayashi H, Shiono J, Miyake G, Komine Y, Taira F and Sakashita H”, Synergism between  $\alpha$ -mangostin and TRAIL induces apoptosis in squamous cell carcinoma of the oral cavity through the mitochondrial pathway, “Oncology Reports, 38(6), 3439-3446”, 2017, 12
- 8) “坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 鈴木正二”, 最新歯科学全書についての考察, “日本歯科医学史学会々誌, 32(3), 243-250”, 2018, 3

### 3. 症例報告

- 1) “Masakatsu Fukuda, Katsuyuki Inoue, Hideaki Sakashita”, Periostitis Ossificans Arising in the Mandibular Bone of a Young Patient: Report of an Unusual Case and Review of the Literature, J Oral Maxillofac Surg 75:, 2017, 9
- 2) “岡田宗久, 重松久夫, 坂下英, 菊池健太郎, 草間薫, 坂下英明”, 舌癌の経過観察中に男性乳癌と下顎歯肉癌が発生した重複癌の1例. “日本口腔外科学会雑誌, 63(1). 25-29”, 2017, 1
- 3) “須賀則幸, 馬越誠之, 坂下英, 瀧澤将太, 井上勝元, 坂下英明”, 頬粘膜憩室様病変の1例. “日本口腔外科学会雑誌, 63(2). 79-82”, 2017, 2

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 上里忠成, 佐々木会, 川尻朱美, 東金由莉, 重松久夫, 坂下英明, 須田直人, Le Fort I型骨切り術後に片側性に上顎骨を下方移動した2例. 第27回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2017, 5
- 2) 斎藤貴一郎, 斎藤満壽乃, 青木太郎, 宮本日出, 坂下英明, 顎関節の変形により超早期関節リウマチが推測された1例. 第30回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会, 神奈川, 2017, 7
- 3) 高木純一郎, 宮田勝, 名倉功, 坂下英明, 前頭部側頭部膿瘍を併発した薬剤関連顎骨壊死の1例, 第62回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 京都, 2017, 7
- 4) 松本和浩, 森田浩光, 宮地斉, 安田順一, 小笠原正, 川口浩司, 鈴木敏行, 水谷太尊, 足立雅利, 笹井啓史, 米原啓之, 代田達夫, 高野正行, 鈴木正二, 板橋仁, 八重柏隆, 永易裕樹, 三浦廣行, 私立歯科大学17校における感染対策教育についての現状調査, 第36回日本歯科医学教育学会総会・学術大会,

長野, 2017, 7

- 5) Masakatsu Fukuda, Hideaki Sakashita, Expression of c-Met in squamous cell carcinoma of the oral cavity (口腔癌扁平上皮癌における c-Met の発現について), 第 76 回日本癌学会総会・学術大会, 2017, 9
- 6) 三宅正彦, 工藤逸郎, 見崎徹, 小室歳信, 坂下英明, 近藤全, 陸軍軍医学校口腔外科 3 代目主任教官井上日英氏による口腔外科戦傷治療指針. 第 45 回日本歯科医史学会・学術大会, 東京, 2017, 9
- 7) 宮田勝, 高木純一郎, 名倉功, 坂下英明, 陳旧性顎顔面多発骨折に対して Le Fort I 型骨切り術により咬合再建を行った 1 例, 第 19 回口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会, 北海道, 2017, 7
- 8) 名倉攻, 宮田勝, 高木純一郎, 坂下英明, 顎間固定における骨支持型線副子装置の使用経験, 第 20 回口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会, 北海道, 2017, 7
- 9) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 鈴木正二, 最新歯科学全書についての考察, 第 45 回日本歯科医史学会・学術大会, 東京, 2017, 9
- 10) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 鈴木正二, 最新歯科学全書についての考察, 第 45 回日本歯科医史学会総会・学術大会, 2017, 9
- 11) 福田正勝, 坂下英明, 口腔扁平上皮癌における c-Met の発現について, 第 76 回日本癌学会学術総会, 神奈川, 2017, 9
- 12) 三宅言輝, 平良芙蓉子, 小笠原悠大, 坂東庸彦, 崎山浩司, 天野修, ラット舌下腺におけるアディポネクチンの局在と糖尿病の影響, 第 60 回歯科基礎医学会学術大会, 長野, 2017, 9
- 13) 坂下英, 坂東庸彦, 崎山浩司, 天野修, マウス Meckel 軟骨における低酸素・オートファジー関連因子の局在と低酸素培養の影響, 第 55 回日本口腔組織培養学会学術大会, 岩手, 2017, 11
- 14) 坂東庸彦, 坂下英, 崎山浩司, 天野修, マウス脛骨の発生における septoclast の由来と分化, 第 55 回日本口腔組織培養学会学術大会, 岩手, 2017, 11
- 15) 平良芙蓉子, 川邊好弘, 坂東庸彦, 崎山浩司, 天野修, 亜鉛欠乏症ラットにおけるエブネル腺の変化, 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 長野 2017, 9  
高木純一郎, 宮田勝, 名倉功, 坂下英明, 舌背部に生じた先天性過誤腫の 1 例, 第 29 回一般社団法人日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 新潟, 2017, 11
- 16) 岡田宗久, 坂下英明, 下顎に生じた粘液腫の 1 例, 第 30 回一般社団法人日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 新潟, 2017, 11
- 17) 鈴木円, 花房秀行, 塚本亮一, 坂下英明, 我孫子聖仁会病院口腔外科に

における小児外来患者の臨床的検討, 第 31 回一般社団法人日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 新潟, 2017, 11

18) 斎藤貴一郎, 斎藤満壽乃, 名倉功, 高木純一郎, 宮田勝, 坂下英明, 上顎正中部に発生した複数埋伏過剰歯の 1 例, 第 32 回一般社団法人日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 新潟, 2017, 11

19) 高木純一郎, 宮田勝, 名倉功, 坂下英明, 非定型歯痛を契機に脳腫瘍が発見された 1 例, 第 30 回日本口腔診断学会・第 27 回日本口腔内科学会学術大会同時開催, 北海道, 2017, 12

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

1) 福田正勝, 井上勝元, 奥 結香, 瀧澤将太, 鈴木正二, 坂下英明, 下顎歯肉癌 (T4N2bM0: Stage IVa) に対しカスタムメイド・チタンメッシュトレー, AO プレートおよび自家腸骨海綿骨細片を用い下顎骨再建を行った 1 例, 第 203 回 日本口腔外科学会関東地方部会学術集会, 2017, 5

2) 名倉功, 宮田勝, 高木純一郎, 坂下英明, 下顎臼歯から下顎枝全体を占拠した顎骨嚢胞の 1 例, 第 60 回日本口腔科学会中部地方部会, 愛知, 2017, 9

# 高齢者歯科学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 竹島 浩 : III-2 歯科医療の質と安全の確保 In : 佐藤裕二, 植田耕一郎, 菊谷 武 編, よくわかる高齢者歯科学 第1版, 永末書店. pp146-147. 2018年1月
- 2) 田村暢章 : III-1 全身疾患 In : 佐藤裕二, 植田耕一郎, 菊谷 武 編, よくわかる高齢者歯科学 第1版, 永末書店. pp128-145. 2018年1月
- 3) 田村暢章 : III-3 歯科医療における安全管理 In : 佐藤裕二, 植田耕一郎, 菊谷 武 編, よくわかる高齢者歯科学 第1版, 永末書店. pp148-151. 2018年1月
- 4) 田村暢章 : III-4 介護技術 In : 佐藤裕二, 植田耕一郎, 菊谷 武 編, よくわかる高齢者歯科学 第1版, 永末書店. pp152-156. 2018年1月

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) HIROSHI SAKAGAMI, RYUICHIRO SUZUKI, YOSHIAKI SHIRATAKI, SOICHI IWAMA, MIKA NAKAGAWA, HAYATO SUZUKI, KENTA TANAKA, NOBUAKI TAMURA, and HIROSHI TAKESHIMA : Re-evaluation of Culture Condition of PC12 and SH-SY5Y Cells Based on Growth Rate and Amino Acid Consumption. *in Vivo* 31: 1089-1095. 2017.11  
doi: 10.21873/invivo.11174
  - 2) HIROSHI SAKAGAMI, MAYUMI TSUJI, MINEKO TOMOMURA, YOSHIKO MASUDA, SOICHI IWAMA, MIKA NAKAGAWA, HAYATO SUZUKI, KENTA TANAKA, ,NOBUAKI TAMURA, AKITO TOMOMURA, SATOSHI YOKOSE, HIROSHI TAKESHIMA, TAKENORI NATORI, MISAKI HORIUCHI, TOMOHIRO FUJISAWA, YUJI KIUCHI, KATSUJI OGUCHI, TOSHIKAZU YASUI, HIROSHI OIZUMI and TAKAAKI OIZUMI : Protection of Differentiating Neuronal Cells from Amyloid  $\beta$  Peptide-induced Injury by Alkaline Extract of Leaves of *Sasa senanensis* Rehder. *in Vivo* 32: 231-239. 2018.3  
doi: 10.21873/invivo.11229
- ### 3. 症例報告
- 1) Toru TAKUSAGAWA, Shoko KAWAGUCHI, Masahiko KOBAYASHI, Takuya SONOKAWA, Victor Jose KITANO FLORES, Shumei YOSHIKAWA, Nobuaki TAMURA, Tsuneyasu TATSUTA, Akemi KAWAJIRI, Yuichiro OTSUKA, Mikiko MANO, Naoto SUDA, Hiroshi TAKESHIMA, and Jun SHIMADA : Perioperative Management of a Patient with Middle Cranial Fossa Arachnoid Cysts. *The Journal of Meikai Dental Medicine* 47 (1), 105-111, 2018.3

## C. その他の刊行物など

- 1) 坂上 宏、友村美根子、友村明人、増田宜子、横瀬敏志、岩間聡一、中川美香、鈴木隼人、田中健大、阿部智之、大石洋平、田村暢章、竹島 浩、安井利一、辻まゆみ、木内祐二、小口勝司、堀内美咲、藤澤知弘、勝呂まどか、大泉浩史、大泉高明：ササヘルスによるホルメシスおよび神経細胞保護効果の誘導. *New Food Industry* Vol.60 No.4 39-48, 2018.3

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (2) シンポジウム

- 竹島 浩 有病者とインプラント治療 (社) 日本先進インプラント医療学会 第 20 回 総会・学術大会 東京 2017 年 9 月 3 日

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 田村暢章, 松本 勝, 竹下 玲, 大岡貴史, 小林真彦, 北 邦宏, 安井利一, 竹島 浩: 本学歯学部における口腔ケア実習に対するアンケート調査. 第 14 回 日本口腔ケア学会総会・学術大会, 沖縄県, 2017 年 4 月
- 2) 田村暢章, 竹下 玲, 大岡貴史, 小林真彦, 龍田恒康, 竹島 浩, 安井 利一: 介護施設における歯学部早期体験臨床実習に対する学生アンケート調査. 日本老年歯科医学会 第 28 回学術大会, 愛知県, 2017 年 6 月
- 3) 園川拓哉, 田村暢章, 藤田耕太郎, 田草川徹, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳: 当科におけるインプラント患者の臨床的検討. 第 47 回日本口腔インプラント学会学術大会, 宮城県, 2017 年 9 月
- 4) 浦 啓修, 森 一将, 青木竜平, 園川拓哉, 小林真彦, 田村暢章, 田草川徹, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳: Le Fort I 型骨切り術による上顎骨の前上方向移動が外鼻形態に与える影響. 第 62 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会, 京都府, 2017 年 10 月

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 坂上 宏, 増田宜子, 友村美根子, 横瀬敏志, 友村明人, 岩間聡一, 中川美香, 鈴木隼人, 田中健大, 阿部智之, 大石洋平, 田村暢章, 竹島 浩, 鈴木龍一郎, 白瀧義明, 辻まゆみ, 木内裕二, 堀江憲夫, 名取威徳, 堀内美咲, 勝呂まどか, 大泉浩史, 大泉高明: ササヘルスのアミロイドペプチド誘発性神経細胞傷害に

対する保護作用．第 137 回日本薬理学会関東部会，東京都，2017 年 10 月

- 2) 坂上 宏，友村美根子，友村明人，増田宜子，横瀬敏志，岩間聡一，中川美香，鈴木隼人，田中健大，阿部智之，大石洋平，田村暢章，竹島 浩，安井利一，辻まゆみ，木内祐二，小口勝司，堀内美咲，藤澤知弘，勝呂まどか，大泉浩史，大泉高明：ササヘルスによるホルメシスおよび神経細胞保護効果の誘導．第 138 回日本薬理学会関東部会，東京都，2018 年 3 月

E. その他の研究会、講演など

竹島 浩 講演演題：高齢者における診療の注意点 （歯科治療における全身管理も含む）明海大学歯学部同窓会四国ブロック大会学術講演会 松山 平成 29 年 11 月 25 日（土）

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)

- 1) 田村暢章：水中運動による身体機能改善と唾液老化マーカーへの影響

# 歯科麻酔学

## A. 著書・訳本

### 2. 訳本

小長谷 光, MGH 麻酔の手引き 頭頸部外科の麻酔, メディカルサイエンスインターナショナル, Page451-464, 2017, 6

## B. 学術論文

### 1. 原著

松村 真由美, 高島 恵子, 田島 徹, 内田 茂則, 小林 克江, 高木 沙央理, 大野 由夏, 牧野 兼三, 小長谷 光, メトクロプラミド投与後に痙攣発作を生じた Sturge-Weber 症候群の 1 例, 日本歯科麻酔学会雑誌 46 巻 1 号 Page40-42, 2017, 11

## C. その他の刊行物など

1) 大野 由夏, 小長谷 光, conditioned pain modulation(CPM) 術後慢性痛が生じるか? CPM を用いて術前に予測する!! vol25, No7 2018 Page766-771 LiSA

## D. 学会発表

### (3) 一般演題

1) Katsuhiko Matsumoto, Hiroshi Oyake, Jeppe Poulsen, Yuka Oono, Osamu Amano, Parisa Gazerani, Lars Arendt-Nielsen, Hikaru Kohase. Nocifensive responses in ovariectomized rats following injection of nerve growth factor into tongue tissue: A new model towards understanding potential mechanisms of burning mouth syndrome. 10th Congress of the European Federation of IASP Chapters (EFIC). Copenhagen, Denmark, Sep 2017.

## 2. 全国学会

### (1) 特別講演 (教育講演)

1) 大野 由夏, 小長谷 光

Conditioned pain modulation を応用した痛みの識別と痛みのリスクファクター  
日本ペインクリニック学会第 51 回大会, 岐阜, 2017, 7

2) 大野由夏

「これであなたもエキスパート! 人には聞けない 鎮静法の管理と介助」

第 45 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 松本 (長野), 2017, 10

3) 斎藤 智彦, 岩瀬 良範, 今村 敏克, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷光, 牧野 兼三, paperChart ワークショップ・ハンズオンセミナー, 第 45 回

日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 松本(長野), 2017, 10

(3) 一般演題

- 1) 大野 由夏, 今村 敏克, 内田 茂則, 高木 沙央理, 長坂 浩, 小長谷 光  
健康成人における Thermal Pain Illusion とその発生メカニズム, 第 64 回日本  
麻酔科学会総会, 神戸(兵庫), 2017, 6
- 2) 大野 由夏, 久保 英範, 松本 勝洋, 高島 恵子, 早川 華穂, 内田 茂則, 高木 沙央理,  
長坂 浩, 小長谷 光, 健康成人における様々な温度パルス刺激による主観的感覚  
評価, 日本ペインクリニック学会第 51 回大会, 岐阜, 2017, 7
- 3) 早川 華穂, 高木 沙央理, 原田 達也, 松本 勝洋, 高島 恵子, 上杉 典子, 久保 英範,  
松村 真由美, 内田 茂則, 大野 由夏, 小林 克江, 牧野 兼三, 星島 宏, 山田守正,  
小長谷 光, 精神性発汗量の変動は前向き健忘効果の阻害を予測するか, 第 45 回  
日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 松本(長野), 2017, 10
- 4) 高島 恵子, 大野 由夏, 今村 敏克, 久保 英範, 松本 勝洋, 松村 真由美, 小宅 宏史,  
内田 茂則, 高木 沙央理, 小林 克江, 牧野 兼三, 西澤 秀哉, 星島 宏, 長坂 浩,  
小長谷 光, Conditioned pain modulation と thermal pain illusion は術後痛発症  
予測のバイオマーカーとなるか, 第 45 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 松本  
(長野), 2017, 10
- 5) 内田 茂則, 早川 華穂, 上杉 典子, 松村 真由美, 高島 恵子, 松本 勝洋,  
久保 英範, 牧野 兼三, 小林 克江, 星島 宏, 高木 沙央理, 大野 由夏, 長坂 浩,  
小長谷 光, 原因薬剤が特定できなかったアナフィラキシーショックの 1 例,  
第 45 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 松本(長野), 2017, 10
- 6) 松本 勝洋, 小宅 宏史, 高島 恵子, 久保 英範, 今村 敏克, 小林 克江, 牧野 兼三,  
内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光, 卵巣摘出ラットの舌に投与した  
神経成長因子により惹起された疼痛様行動, 第 45 回日本歯科麻酔学会総会・学術  
集会, 松本(長野), 2017, 10
- 7) 松村 真由美, 黒田 翔太, 高島 恵子, 今村 敏克, 久保 英範, 松本勝洋, 内田 茂則,  
高木 沙央理, 大野 由夏, 小林 克江, 牧野 兼三, 小長谷 光, メトクロプラミド投与  
後に痙攣発作を生じた Sturge-Weber 症候群の 1 例, 第 45 回日本歯科麻酔学会  
総会・学術集会, 松本(長野), 2017, 10
- 8) 星島 宏, 竹内 梨紗, 西澤 秀哉, 伊藤 直樹, 高橋 正人, 野木 武洋, 長坂 浩,  
大野 聖加, 小林 克江, 牧野 兼三, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏,  
小長谷 光, McGrath video laryngoscope versus Macintosh laryngoscope for  
tracheal intubation: a systematic review, 第 45 回日本歯科麻酔学会総会・  
学術集会, 松本(長野), 2017, 10
- 9) 牧野 兼三, 小林 克江, 原 真由美, 増永 真里菜, 吉岡 典子, 小長谷 光,  
大野 由夏, 高木 沙央理, 内田 茂則, 原田 達也, 星島 宏, 成人での深鎮静時の



喉頭観察と経鼻エアウェイの至適位置の検討, 第 34 回日本障害者歯科学会総会, 博多 (福岡), 2017, 10

- 1 0) 稲田 譲, 原田 達也, 関戸 達哉, 菊田 高行, 内田 博之, 白井 弘三, 戸坂 清二, 丸山 清孝, 新井 曄子, 鈴木 朋, 阿部 佳子, 脇田 亮, 篠塚 修, 小長谷 光, 深山 治久, 歯科医師会障害者診療所における静脈内鎮静法下歯科治療の実態, 第 34 回日本障害者歯科学会総会, 博多 (福岡), 2017, 10
- 1 1) 鈴木 史人, 武田 千夏, 大野 由夏, 高木 沙央理, 小長谷 光, Down 症患者の全身麻酔歯科治療後にトラネキサム酸が原因となって発症したアナフィラキシーショックの 1 例, 第 34 回日本障害者歯科学会総会, 博多 (福岡), 2017, 10
- 1 2) 原田 達也, 松本 勝洋, 高橋 翔平, 稲田 穰, 小林 克江, 牧野 兼三, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光, 障害者に歯科治療におけるチェアサイド CAD/CAM システムを使用した即日歯冠修復, 第 34 回日本障害者歯科学会総会, 博多 (福岡), 2017, 10

### 3. 地方会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 小長谷光, 歯科麻酔についての話題と ERAS の応用, 第 13 回埼玉医大臨床麻酔ネットワーク (SMU-CAN), 川越 (埼玉), 2017, 9

#### (3) 一般演題

- 1) 大野 由夏, 内田 茂則, 高木 沙央理, 小長谷 光, 慢性疼痛患者のあらたな病態評価法の開発, 第 32 回明海歯科医学会, 坂戸 (埼玉), 2017. 6
- 2) 小長谷 光, 大野 由夏, 高木 沙央理, 内田 茂則, 黒田 翔太, 久保 英範, 高島 恵子, 松本 勝洋, 早川 華穂, 上杉 典子, 松村真 由美, 牧野 兼三, 小林 克江, Total cavopulmonary connection 手術 (フォンタン手術) を予定された成人重症心不全患者の鎮静法, 第 34 回関東臨床歯科麻酔懇話会, 与野, 2017, 6,

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 宮田研究奨励金 (A), 内田 茂則, 松本 勝洋, 神経障害性疼痛に着目した口腔灼熱症候群の病態解明のための新たなモデルラットの開発, 2017, 5

# 歯科法医学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 坂 英樹, 第9章 白骨死体の鑑定 8. 骨および歯による年齢推定 補遺, 法歯科医学 基礎知識から臨床・災害時の対応まで (監修: 高橋雅典, 編集: 都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一), 永末書店, 京都, pp134-137, 2017, 11

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 齊藤嘉大, 高橋伸年, 井澤真希, 小澤智宣, 桶田賢次, 浅見瑠璃, 齋藤圭輔, 奥村泰彦, Multi-detector Computed Tomography を使用したボリュームレンダリング法における仮想顔貌 3D モデル構築に関する基礎研究, 明海歯科医学 46(2), 99-110, 2017, 9
- 2) Otaka Y, Harata Y, Izawa M, Iwawaki A, Asami R, Saka H, Okumura Y, On the safe use of portable intraoral X-ray units in large-scale disaster, 日本口腔診断学会雑誌 30(3), 311-326, 2017, 10
- 3) Otaka Y, Harata Y, Izawa M, Iwawaki A, Asami R, Saka H, Okumura Y, Protection against radiation during use of handheld portable X-ray units, 明海歯科医学 47(1), 55-69, 2018, 2
- 4) 鈴木達也, 井澤真希, 小澤智宣, 高橋伸年, 齊藤嘉大, 齋藤圭輔, 岩脇淳志, 奥村泰彦, CBCT を用いた下顎切歯管の成長発育に対する周囲組織の影響, 明海歯科医学 47(1), 20-32, 2018, 2

### 4. 短報

- 1) 大高祐聖, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 井澤真希, 奥村泰彦, 坂 英樹, 個人識別作業における携帯型エックス線撮影による手指被曝, 日本法歯科医学会誌 9(1), 11-13, 2018, 3

## C. その他の刊行物など

- 1) 坂 英樹, 平成 29 年度パラオ諸島戦没者現地調査 (第 4 次派遣) 報告書 一般社団法人 日本戦没者遺骨収集推進協会, 2017, 12
- 2) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains at Peleliu and Angaur Island, Republic of Palau in December 2017 for HPO, Historic Preservation Office, Republic of Palau, 2017, 12
- 3) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu and Angaur Island, Republic of Palau on March

2018, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties,  
2018, 3

- 4) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu and Angaur Island, Republic of Palau on March 2018, Historic Preservation Office, Republic of Palau, 2018, 3

#### D. 学会発表

##### 1. 国際学会

###### (3) 一般演題

- 1) Iwawaki A, Otaka Y, Asami R, Okumura Y, Saka H, The relationship between exposure dose and phantom size at the time of using portable X-Ray unit, 10th International symposium advances in Legal Medicine, Dusseldorf, 2017, 9

##### 2. 全国学会

###### (3) 一般演題

- 1) 大高祐聖, 原田康雄, 井澤真希, 浅見瑠璃, 坂 英樹, 奥村泰彦, 携帯型口内法エックス線装置による手指被爆と後方散乱線除去用シールドの効果, 日本歯科放射線学会第58回学術大会, 鹿児島, 2017, 6
- 2) 坂 英樹, 日比野靖, 中畷 裕, 明海大学歯学部卒業生を対象とした学修状況等に関するアンケート, 第36回日本歯科医学教育学会学術大会, 松本, 2017, 7
- 3) 浅見瑠璃, 網干博文, 岩脇淳志, 大高祐聖, 齊藤嘉大, 須藤健太郎, 奥村泰彦, 坂 英樹, マイクロX線CTを用いた上顎第一小白歯の歯冠部体積変化に着目した年齢推定法, 日本法歯科医学会第11回学術大会, 浦安, 2017, 11

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂 英樹, 歯科保健, 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科特別講義, 朝霞, 2017, 5
- 2) 坂 英樹, インプラント治療に必要な解剖学, 口腔インプラント生涯研修センター第32回口腔インプラントセミナー, 名古屋, 2017, 7
- 3) 坂 英樹, 大規模災害における歯科的個人識別の実際と今後の課題, 東京歯科大学同窓会練馬支部講演会, 東京, 2017, 9
- 4) 坂 英樹, 大規模災害における歯科的個人識別の実際と今後の課題, 比企郡市歯科医師会定例会 勉強会, 東松山, 2017, 9
- 5) 坂 英樹, 小児期における顎顔面部の成長発育, 愛知県歯科医師会0歳児からの口腔機能育成事業講演会, 名古屋, 2017, 10
- 6) 坂 英樹, 歯牙解剖-総論, デンタルチャート(死後記録)作成に関する研修会 埼玉県警察本部, さいたま, 2017, 10

- 7) 坂 英樹, 歯牙解剖-各論, デンタルチャート (死後記録) 作成に関する研修会  
埼玉県警察本部, さいたま, 2017, 10
- 8) 坂 英樹, 歯牙解剖-総論, デンタルチャート (死後記録) 作成に関する研修会  
埼玉県警察本部, さいたま, 2018, 11
- 9) 坂 英樹, 歯牙解剖-各論, デンタルチャート (死後記録) 作成に関する研修会  
埼玉県警察本部, さいたま, 2017, 11
- 10) 坂 英樹, 歯牙解剖-総論, デンタルチャート (死後記録) 作成に関する研修会  
埼玉県警察本部, さいたま, 2018, 2
- 11) 坂 英樹, 歯牙解剖-各論, デンタルチャート (死後記録) 作成に関する研修会  
埼玉県警察本部, さいたま, 2018, 2

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 3. 宮田研究奨励金 (E)

- 1) 岩脇淳志, 携帯型 X 線発生装置使用時の防護に関する研究, 2017, 4

# 社会健康科学講座

口腔衛生学分野

障がい者歯学分野

医療情報科学分野

基礎数学・統計学分野

# 口腔衛生学

## A. 学術論文

### 1. 総説

- 1) 竹下 玲, 日比野靖, 安井利一, 中葛 裕 : CariScreen<sup>®</sup> : その特徴と齲蝕管理プログラム(CAMBRA)での応用について (特集 齲蝕・歯周病予防のための唾液検査システム), 日本歯科理工学会誌 36 巻 4 号, 241-244, 2017 年 7 月

### 2. 原著

- 1) 仲筋宣子, 深井智子, 高橋明子, 杉 陽子, 末續真弓, 宮澤 慶, 西城光雅, 清水良昭, 松本 勝, 竹下 玲, 高野梨沙, 岡崎由佳, 安井利一 : 思春期における顎関節自覚症状の有無と「あごの健康診断チャート」の結果の検討, 口腔衛生学会 67 巻 3 号, 181-189, 2017 年 7 月
- 2) 北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 宮澤 慶, 安井利一 : 模型の基底面と前歯歯軸との角度の違いがマウスガードの厚さに及ぼす影響について, 日本スポーツ歯科医学会 20 巻 2 号, 34-42, 2018 年 2 月

## B. 学会発表

### 1. 全国学会

#### (1) 一般演題

- 1) 望月 司, 松田昌文, 皆川真哉, 深井智子, 廣瀬哲也, 吉川 賢, 中野文夫, 小杉憲吾, 河合裕直, 竹下 玲, 安井利一, 川越市における糖尿病に関わる医科歯科連携の試みに関して～糖尿病連携手帳の記載項目での関連調査から～, 第 60 回日本糖尿病学会, 名古屋市, 2017 年 5 月
- 2) 宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 北 邦宏, 安井利一 : 歯科衛生士学校学生のスポーツ歯学に関する興味・理解について, 第 66 回日本口腔衛生学会, 札幌市, 2017 年 6 月
- 3) 望月 司, 深井智子, 竹下 玲, 安井利一, 田中 入, 皆川真哉 : 「川越市における糖尿病に関わる医科歯科連携の試み」～アンケート調査から見えてくる糖尿病患者の認識～, 第 66 回日本口腔衛生学会, 札幌市, 2017 年 6 月
- 4) 大岡貴史, 高野梨沙, 安井利一 : 非接触舌・口腔運動認識システムを用いた口腔機能向上プログラムの介入効果, 第 66 回日本口腔衛生学会, 札幌市, 2017 年 6 月
- 5) 高野梨沙, 大岡貴史, 竹下 玲, 安井利一 : 全身疾患と歯科診療に関する意識調査と口腔内の状態および歯科受療行動との関連, 第 66 回日本口腔衛生学会, 札幌市, 2017 年 6 月

- 6) 北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 宮澤 慶, 安井利一: マウスガードの厚さを確保するためのシート圧接法についての検討ー第1報シート材の加熱についてー, 第29回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 札幌市, 2017年6月
- 7) 宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 北 邦宏, 杉山義祥, 安井利一: 歯科衛生士学校学生のスポーツ歯学に関する興味・理解の変化 第2報, 第29回スポーツ歯科医学会, 札幌市, 2017年6月
- 8) 北 邦宏, 松本 勝, 深井智子, 宮澤 慶, 安井利一: マウスガードの厚さを確保するためのシート圧接法についての検討(第2報) シート圧接時における模型の位置, 第28回日本臨床スポーツ医学会, 渋谷区, 2017年10月

### C. その他の研究会、講演など

- 1) 竹下 玲: What is CAMBRA™? ～メカニズムから実践へ～, CAMBRA™定期予防管理セミナー (主催; 明海大学歯学部生涯研修部・協賛; ㈱ヨシダ・㈱KDP/博報堂), 新宿区 (明海大学・朝日大学サテライトキャンパス), 2017年4月
- 2) 竹下 玲: CAMBRA™によるう蝕管理法 ～開業時から差をつけるう蝕予防管理～, ヨシダ「GROUP 21」開業セミナー (主催; ㈱ヨシダ), 台東区 (株式会社ヨシダ本社), 2017年4月
- 3) 宮澤 慶: むし歯予防、むし歯なし大人の歯へ, 東大和市 (東大和市立保健センター), 2017年5月
- 4) 北 邦宏: これからのむし歯予防～健康な大人の歯へ向けて～, 東大和市 (東大和市立保健センター), 2017年7月
- 5) 竹下 玲: 高齢者のサルコペニアや誤嚥性肺炎の予防のために ～元気なお口のお手入れ方法～, ウエルカフェ・セミナー (主催; ウエルシア介護サービス(株)), 比企郡 (ウエルシア薬局 森林公園駅前店), 2017年7月
- 6) 竹下 玲: CAMBRA™について, 明海大学歯学部病院連絡会, 坂戸市 (明海大学歯学部), 2017年7月
- 7) 竹下 玲: 新しいう蝕リスクの管理方法; CAMBRA™の紹介, 明海大学歯学部同窓会ブロック大会学術講演会, 富山市 (割烹・松月), 2017年8月
- 8) 竹下 玲: What is CAMBRA™? ～メカニズムから実践へ～ CAMBRA™定期予防管理セミナー (主催; 明海大学歯学部生涯研修部・協賛; ㈱ヨシダ・㈱KDP/博報堂), 新宿区 (明海大学・朝日大学サテライトキャンパス), 2017年8月
- 9) 北 邦宏: これからのむし歯予防～健康な大人の歯へ向けて～, 東大和市 (東大和市立保健センター), 2017年8月
- 10) 竹下 玲: う蝕予防と CAMBRA™, 川越歯科医師会・定例会, 川越市 (川越市歯科医師会館), 2017年9月
- 11) 竹下 玲: 歯科疾患と治療の基礎知識, 糖尿病に関わる歯科医科連携の会,

- 川越市（川越市医師会館），2017年9月
- 1 2）北 邦宏：これからのむし歯予防～健康な大人の歯へ向けて～，東大和市（東大和市立保健センター），2017年10月
  - 1 3）竹下 玲：CAMBRA™によるう蝕管理法 ～開業時から差をつけるう蝕予防管理～，ヨシダ「GROUP 21」開業セミナー（主催；㈱ヨシダ），名古屋市（株式会社ヨシダ 中部支店），2017年10月
  - 1 4）竹下 玲：う蝕リスク管理方法；CAMBRA™の紹介，明海大学歯学部同窓会千葉県支部 学術講演会，千葉市（京成ホテルミラマーレ），2017年11月
  - 1 5）竹下 玲：高齢者のサルコペニアや誤嚥性肺炎の予防のために ～元気なお口のお手入れ方法～，ウエルカフェ・セミナー（主催；ウエルシア介護サービス（株）），秩父郡（ウエルシア薬局 長瀬店），2017年11月
  - 1 6）竹下 玲：高齢者のサルコペニアや誤嚥性肺炎の予防のために ～元気なお口のお手入れ方法～，ウエルカフェ・セミナー（主催；ウエルシア介護サービス（株）），比企郡（ウエルシア薬局 東松山店），2017年11月
  - 1 7）北 邦宏：これからのむし歯予防～健康な大人の歯へ向けて～，東大和市（東大和市立保健センター），2017年12月
  - 1 8）竹下 玲：高齢者のサルコペニアや誤嚥性肺炎の予防のために ～元気なお口のお手入れ方法～，ウエルカフェ・セミナー（主催；ウエルシア介護サービス（株）），川越市（ウエルシア薬局 中台元町店），2018年2月
  - 1 9）北 邦宏：これからのむし歯予防～健康な大人の歯へ向けて～，東大和市（東大和市立保健センター），2018年2月
  - 2 0）竹下 玲：What is CAMBRA™？，YK-CAMBRA(TM)セミナー（主催；㈱ヨシダ・㈱KDP/博報堂），台東区（株式会社ヨシダ 本社），2018年3月
  - 2 1）佐伯真弓：乳歯のむし歯になる条件、歯並びに影響する習慣について，比企郡（ときがわ町保健センター），よい歯の教室-2，2018年3月
  - 2 2）竹下 玲：新しいう蝕リスクのとらえ方 ～CAMBRA～，第38回PDI研修医症例報告会&特別講演会，豊島区（ホテルメトロポリタン），2018年3月



## 障がい者歯科学

### D. 学会発表

#### 全国学会

##### (3) 一般演題

##### 1) 障害者の歯科治療におけるチェアーサイド CAD/CAM システムを使用した即日歯冠修復

原田 達也, 松本 勝洋, 高橋 翔平, 稲田 穰, 小林 克江, 牧野 兼三, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光

第 34 回 日本障害者歯科学会総会・学術大会 (福岡) 2017. 10

##### 2) 卵巣摘出ラットの舌に投与した神経成長因子により惹起された疼痛関連行動

松本 勝洋, 小宅 宏史, 高島 恵子, 久保 英範, 今村 敏克, 小林 克江, 牧野 兼三, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光

第 45 回 日本歯科麻酔学会総会・学術大会 (松本) 2017. 10

##### 3) Conditioned pain modulation と thermal pain illusion は術後痛発症予測のバイオマーカーとなるか

高島 恵子, 大野 由夏, 今村 敏克, 久保 英範, 松本 勝洋, 松村 真由美, 小宅 宏史, 内田 茂則, 高木 沙央理, 小林 克江, 牧野 兼三, 西澤 秀哉, 星島 宏, 長坂 浩, 小長谷 光

第 45 回 日本歯科麻酔学会総会・学術大会 (松本) 2017. 10

##### 4) 精神性発汗量の変動は前向き健忘効果の阻害を予測するか

早川 華穂, 高木 沙央理, 原田 達也, 松本 勝洋, 高島 恵子, 上杉 典子, 久保 英範, 松村 真由美, 内田 茂則, 大野 由夏, 小林 克江, 牧野 兼三, 星島 宏, 山田 守正, 小長谷 光

第 45 回 日本歯科麻酔学会総会・学術大会 (松本) 2017. 10

##### 5) McGRATH MAC ビデオ喉頭鏡 VS マッキントッシュ型喉頭鏡 システムティックレビュー

星島 宏, 竹内 梨紗, 西澤 秀哉, 伊藤 直樹, 高橋 正人, 野木 武洋, 長坂 浩, 大野 聖加, 小林 克江, 牧野 兼三, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光

第 45 回 日本歯科麻酔学会総会・学術大会（松本）2017.10

**6) 原因薬剤が特定できなかったアナフィラキシーショックの 1 例**

内田 茂則, 松村 真由美, 早川 華穂, 高島 恵子, 松本 勝洋, 久保 英範, 上杉 典子,  
小林 克江, 牧野 兼三, 西澤 秀哉, 星島 宏, 高木 沙央理, 大野 由夏, 長坂 浩,  
小長谷 光

第 45 回 日本歯科麻酔学会総会・学術大会（松本）2017.10

**7) メトクロプラミド投与後に痙攣発作を生じた Sturge-Weber 症候群の 1 例**

松村 真由美, 黒田 翔太, 高島 恵子, 大野 由夏, 今村 敏克, 久保 英範, 松本 勝洋,  
内田 茂則, 高木 沙央理, 小林 克江, 牧野 兼三, 小長谷 光

第 45 回 日本歯科麻酔学会総会・学術大会（松本）2017.10

**8) 咽頭内圧を利用した静脈内鎮静法時の気道開通性モニタリング**

牧野 兼三, 小林 克江

明海歯科医学 (1881-4298)46 巻 2 号 Page S25-S26(2017.09)

**9) 成人での深鎮静時の咽頭の観察と経鼻エアウェイの至適位置の検討**

牧野 兼三, 小林 克江, 原 真由美, 増永 真里奈, 吉岡 典子, 小長谷 光, 大野 由夏,  
高木 沙央理, 内田 茂則, 原田 達也, 星島 宏

第 34 回 日本障害者歯科学会総会・学術大会（福岡）2017.10

**10) 有病者歯科外来における paperChart の活用**

佐々木 陽子, 高木 沙央理, 大野 由夏, 牧野 兼三, 小長谷 光

第 26 回 有病者歯科医療学会総会・学術大会（金沢）2017.3

**11) paperChart ワークショップ**

斎藤 智彦, 高橋 敏克, 内田茂則, 高木沙央里, 大野由夏, 小長谷光, 牧野兼三,  
小林克江

第 26 回 有病者歯科医療学会総会・学術大会（金沢） 2017. 3

1 2) 成人での深鎮静時の咽頭の観察と経鼻エアウェイの至適位置の検討

牧野 兼三, 小林 克江, 原 真由美, 増永 真里奈, 吉岡 典子, 小長谷 光, 大野 由夏,  
高木 沙央理, 内田 茂則, 原田 達也, 星島 宏

第 34 回 日本障害者歯科学会（福岡） 2017. 10

F. 研究助成金等の受入れ

3. 宮田研究奨励金（A）

**咽頭内圧を利用した静脈内鎮静法時の気道開通性モニタリング**

牧野 兼三, 小林 克江

明海歯科医学（1881-4298）46 巻 2 号 Page S25-S26 (2017. 09)

## 医療情報科学

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 古谷貴彦, 山内雅司, Maximal rigid objects in an orbit category arising from a tube, 2017  
日本数学会秋季総合分科会 (山形), 2017, 9

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Furuya T, Hayami T", Hochschild cohomology for a socle deformation of some self-injective special biserial algebra of rank four, "Journal of Algebra and Applied Mathematics, Vol. 18, No.1, pp.19-44 ", 2018, 3

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 古谷貴彦, 山内雅司, Maximal rigid objects in an orbit category arising from a tube, 日本数学会 2017 年度秋季総合分科会, 山形, 2017, 9

# 総合臨床医学講座

内 科 学 分 野

## 内科学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 長谷川彰彦：循環器疾患総論. In: 歯科のための内科学 改訂第4版, 西田次郎, 小島孝雄, 大久保直編集, 南江堂, 東京, pp37-47,2018年

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Hayashi J, Hasegawa A, Hayashi K, Suzuki T, Ishii M, Otsuka H, Yatabe K, Goto S, Tatsumi J and Shin K : Effects of periodontal treatment on the medical status of patients with type 2 diabetes mellitus : a pilot study. BMC Oral Health, 17:77, 1-6,2017.
- 2) Otaka Y, Harata Y, Izawa M, Iwawaki A, Asami R, Saka H, Hasegawa A and Okumura Y : Protection against radiation during use of handheld portable X-ray units. J Meikai Dent Med, 47,55-69,2018.

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 藤原敬子, 森一将, 長谷川彰彦, 嶋田淳 : 舌白板症患者術前検査で判明した相対性多血症の1例. 第27回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 東京, 2018年3月.

#### 3. 地方会

##### (3) 一般演題

- 1) 小澤智宣, 井澤真希, 高橋伸年, 長谷川彰彦, 奥村泰彦 : クラウド型画像閲覧システム Super Exlear を使用した学生トレース実習の試み. 日本歯科放射線学会第226回関東地方会, さいたま, 2018年1月.

# 明海大学歯科医学総合研究所

Meikai University Research Institute of Odontology

(M-RIO)



明海大学歯科医学総合研究所  
Meikai University Research Institute of Odontology  
(M-RIO)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) "Sakagami H, Sheng H, Yasui T, Fukuchi K, Oizumi T, Ohno H, Yamamoto M, Fukuda T, Kotohda K, Yoshida H, Kanamoto Terakubo S and Nakashima H", Chapter 18. Therapeutic potential of solubilized nanolignin against oral diseases. , "In Nanostructures for Oral Medicicne, ed., Grumezescu, Elsevier, ISBN: 978-0-323-47720-8; PII: 978-0-323-47720-8.00019-5, pp545-576, 2017April 11.",2017,4
- 2) Sakagami H,"Chapter 1. Introductory chaper: Fugure prespect of licorice, popular crude drug and food sweetener. ", "Intech, , ""Biological Activities and Action Mechanisms of Licorice Ingredients""ISBN 978-953-51-5195-1. pp 3-12, 2017",2017,4
- 3) "Sakagami H, Kato T, Fukuchi K, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Ohno H and Yamamoto M", "Chapter 6. Applicability of Licorice Extracts for Treatment of Oral Diseases, Evaluated by Simplified In Vitro Assay Systems. ", "Intech, , ""Biological Activities and Action Mechanisms of Licorice Ingredients""ISBN 978-953-51-5195-1, pp 91-106, 2017 ",2017,4
- 4) "Garcia-Contreras R, Scougall-Vilchis RJ, Contreras-Bulnes R, Sakagami H and Nakajima H ", Efecto citotoxico de las nanoparticulas de TiO2 en cultivo de celulas orales,Temas selectos de biomedicina en Ciencias de la Salud,2017,8

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Panda AK, Das U, Umemura N, Sakagami H, Kawase M, Balzarini J and De Clercq E, Dimmock SG, Roayapalley PK, Dimmock JR", 6-Benzylidene-2-[4-(pyridin-3-ylcarboxy)benzylidene]cyclohexanones: A novel cluster of tumour-selective cytotoxins., Bioorg Med Chem Lett. 2017 Apr 1;27(7):1611-1615., 2017, 4
- 2) "Saijo R, Sekiya H, Tamai E, Kurihara K, Maki J, Sakagami H and Kawase M", "A novel methodology for synthesis of 1,5,6-trisubstituted 2(1H)pyrazinones of biological interest", Chem Pharm Bull 65 (4): 365-372, 2017, 4
- 3) "Suzuki R, Sakagami H, Amano S, Fukuchi K, Sunaga K, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Shirataki Y, Tomomura M, Masuda Y, Yokose S, Tomomura A,

- Watanabe H, Okawara M and Matahira Y", Evaluation of biological activity of mastic extracts based on chemotherapeutic indices,"In Vivo 31(4), 591-598", 2017, 7
- 4) "Tomomura M, Tomomura A, Oizumi T, Yasui T, and Sakagami H", Extract of *Sasa senanensis* Rehder Leaf Promotes Osteoblast Differentiation in MC3T3-E1 cells, J Meikai Dent Med 46(2): 111-161, 2017, 9
- 5) "Sasaki A, Hasegawa N, Adachi K, Sakagami H and Suda N", Orthodontic treatment induced temporal alteration of jaw-opening reflex excitability, J Neurophysiol. 118(4): 2289-2295, 2017, 10
- 6) "Sakagami H, Uesawa Y, Masuda Y, Tomomura M, Yokose S, Miyashiro T, Murai J, Takao K, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, and Sugita Y", Quantitative structure-cytotoxicity relationship of newly synthesized piperic acid esters, Anticancer Res 37(11):6161-6168., 2017, 11
- 7) "Uesawa Y, Sakagami H, Takao K, Kagaya H and Sugita Y", Quantitative structure-cytotoxicity relationship of auronones, Anticancer Res 37(11):6169-6176., 2017, 11
- 8) "Sakagami H, Suzuki R, Shirataki Y, Iwama S, Nakagawa M, , Suzuki H, Tanaka K, Tamura N and Takeshima H", Re-evaluation of culture condition of PC12 and SH-SY5Y cells based on growth rate and amino acid consumption, In Vivo 31(6):1089-1095., 2017, 11
- 9) "Matsuo Y, Shinoda D, Nakamaru A, Kamohara K, Sakagami H and Mimaki Y.", Steroidal Glycosides from *Convallaria majalis* Whole Plants and Their Cytotoxic Activity, Int J Mol Sci. 2017 Nov 7;18(11). pii: E2358. doi: 10.3390/ijms18112358, 2017, 11
- 1 0) 小島、坂上宏, ポピドンヨード液を規準にした OTC の口臭・口腔内細菌・口腔細胞に与える影響の検討, New Food Industry 59(12): 71-76, 2017, 12
- 1 1) "Nanbu T, Umemura N, Ohkoshi E, Nanbu K, Sakagami H and Shimada J", Combined SN-38 and gefitinib treatment promotes CD44 degradation in head and neck squamous cell carcinoma cells, "Oncol Rep 39 (1), 367-375", 2018, 1
- 1 2) "Aoyama H, Sakagami H and Hatano H:", "Three new flavonoids, proanthocyanidin, and accompanying phenolic constituents from *Feijoa sellowiana*.", Biosci Biotechnol Biochem 82(1): 31-41, 2018, 1
- 1 3) "Sakagami H, Okudaira N, Uesawa Y, Takao K, Kagaya H, Sugita Y", Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 2-azolychromones, Anticancer Res 38(2):763-770, 2018, 2
- 1 4) "Uesawa Y, Sakagami H, Okudaira N, Toda K, Takao K, Kagaya H and Sugita

- Y", Quantitative structure-cytotoxicity relationship of cinnamic acid phenethyl esters, *Anticancer Res* 38(2):817-823, 2018, 2
- 1 5) "Sakagami H, Tsuji M, Tomomura M, Masuda Y, Iwama S, Nakagawa M, Suzuki H, Tanaka K, Abe T, Tamura N, Tomomura A, Yokose S, Takeshima H, Natori T, Horiuchi M, Fujisawa T, Kiuchi Y, Oguchi K, Yasui T, Oizumi H and Oizumi T", Protection of differentiating neuronal cells from amyloid  $\beta$  peptide-induced injury by alkaline extract of leaves of *Sasa senanensis* Rehder., *In Vivo* 32(2): 231-239, 2018, 3
- 1 6) Kuroda M, Kubo S, Masatani D, Matsuo Y, Sakagami H, Mimaki Y", "Aestivalosides A-L, twelve pregnane glycosides from the seeds of *Adonis aestivalis*.", *Phytochemistry* 150: 75-84, 2018, 3

## 2. 総説

- 1) "Sugita Y, Takao K, Uesawa Y and Sakagami H", Search for new type of anticancer drugs with high tumor-specificity and less keratinocyte toxicity (Review), *Anticancer Res* 37(11):5919-5924, 2017, 11
- 2) Sakagami H and Tomomura M, *Dental Application of Natural Products, Medicines (Basel)* Feb 14;5(1). pii: E21. doi: 10.3390/medicines5010021, 2018, 2

## C. その他の刊行物など

- 1) 坂上宏, 口臭・ムシ歯をふせぎ白い歯に「クマ笹歯みがき」, 月刊ことぶき 4月号 34-35, 2017, 4
- 2) 宮田順次 (英訳: 坂上宏), 進化する南国酒家—新しいメニューをめざして—, "New Food Industry 59(4), 53-59", 2017, 4
- 3) 牧純、関谷洋志、畑昌之、玉井栄治、坂上宏, 人体への寄生虫感染を警戒すべき食材(15) 虫卵・幼虫の付着した食材からも感染する小形条虫, *New Food Industry* 59(5): 49-54, 2017, 5
- 4) 坂上宏、肖黎、戴秋娟、大石隆介、神崎龍志, 国際的コミュニケーション能力の重要性(4)—「中国料理」に見られる日本と中国における嗜好の相違, "New Food Industry 59(6), 71-93", 2017, 6
- 5) 牧純、関谷洋志、中村円香、畑昌之、玉井栄治、坂上宏, 人体への寄生虫感染を警戒すべき食材(16)-新鮮な獣肉から感染する旋毛虫, "New Food Industry 59 (7) : 33-38, 2017", 2017, 7
- 6) 増田宜子、横瀬敏志、坂上宏, 美味しく食べるための歯の根管治療—根管形態—, *New Food Industry* 59(7): 52-54, 2017, 7
- 7) 宮田佳明 (英訳: 坂上宏), 変貌する中国料理～南国酒家のこだわりと創造の

- 原点,"New Food Industry 59 (7), 69-75",2017,7
- 8) 坂上宏,「SE-10」,月刊ことぶき 8月号 44-46,2017,8
- 9) 小島百代(ファカルティー・アドバイザー:坂上宏),ポビドンヨード液を基準にした OTC の口臭・口腔内細菌・口腔細胞に与える影響の検討,平成 29 年度スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRIP) 日本代表選抜大会、歯科医師会館、東京,2017,8
- 1 0) 友村美根子: 骨粗鬆症特集 ゲラニルゲラニオールと骨代謝. *Medical Science Digest* 43 (9), 7-9, 2017,8
- 1 1) 坂上 宏、天野滋、増田宜子、横瀬敏志、友村美根子、友村明人、鈴木龍一郎、須永克佳、白瀧義明、福地邦彦、金本大成、寺久保繁美、中島秀喜、渡邊博文、大川原正喜、又平芳春,解説 マスティック抽出画分の薬理作用,*New Food Industry* 59(9): 67-76,2017,9
- 1 2) 友村美根子、友村明人、大泉高明、安井利一、坂上宏,解説書、クマザサ葉抽出液は骨芽細胞と破骨細胞を相反的に制御することで骨形成を促進する,"*New Food Industry* 59 (11): 41-45, 2017.",2017,11
- 1 3) 坂上宏、肖黎、戴秋娟、大石隆介、神崎龍志、土田幸広,"国際的コミュニケーション能力の重要性(5), どのようにしたら時代に取り残されないか? ", "*New Food Industry* 59 (11):69-81, 2017",2017,11
- 1 4) Zheng Yan、坂上 宏,世界の学食(1)—北京大学,*New Food Industry* 60 (3): 65-71,2018,3

#### D. 学会発表

##### 2. 全国学会

###### (1) 特別講演(教育講演)

- 1) 坂上宏、安井利一, Introduction of Meikai University School of Dentistry: Anti-HIV Strategies Based on Improving Oral Health, "第3回 日本・南アフリカ大学フォーラム(SAJUフォーラム)における分科会(Health)での発表、国際交流会議場、東京", 2017, 7

###### (3) 一般演題

- 1) 増田宜子、坂上宏、横瀬敏志: 笹の葉抽出液の歯髄細胞に対する影響について、第38回日本歯内療法学会、東京
- 2) 坂上 宏、友村美根子、増田宜子, 明海大学歯科医学総合研究所(M-RIO)の設立: 有害作用の少ない口腔疾患治療薬の開発をめざして, 第59回歯科基礎医学会学術大会、松本歯科大学、長野県, 2017, 8
- 3) 深見 聡、鈴木 龍一郎、友村 美根子、友村 明人、白瀧 義明: フサザクラに含まれる骨芽細胞の分化を促進する化合物の探索. 第64回日本生薬学会、船橋,

2017,9

- 4) 魏 冉、安藤香奈絵、友村美根子、久永眞市: 小胞輸送制御における LMTK1 の  
パルミトイル化とアイソフォームの役割. 第 40 回日本分子生物学会年会、  
第 90 回日本生化学会大会合同大会, 神戸, 2017,12
- 5) 西野尋紀、高野哲也、堤弘次、浅野朋子、斎藤太郎、安藤香奈絵、友村美根子、  
久永眞市: Lemur kinase1A(LMTK1A)は Rab11A 依存的なエンドソームの輸送を  
介して樹状突起スパインの形成を制御する. 第 40 回日本分子生物学会年会、  
第 90 回日本生化学会大会合同大会, 神戸, 2017,12
- 6) 内田知里、小澤知佳、菊地秀与、高尾浩一、杉田義昭、坂上宏、津田整、  
須永克佳, ヒト肝がん由来細胞株 HepG2 に対する 3-styrylchromone 誘導体の抗腫瘍  
効果, 日本薬学会第 138 年会、金沢, 2018,3

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 坂上宏、鈴木龍一郎、天野滋、須永克佳、金本大、福地邦彦、寺久保繁美、  
白瀧義明、増田宜子、横瀬敏志、友村美根子、友村明人、中島秀喜、渡邊博文、  
大川原正喜、又平芳春: マスティック画分の生物活性の化学療法係数に基づいた  
再評価. 第 136 会薬理学会関東部会, 東京, 2017,7
- 2) 坂上宏、植沢芳広、増田宜子、友村美根子、金本大成、寺久保繁美、宮城昂幹、  
村井淳一、高尾浩一、横瀬敏志、加賀谷肇、中島秀喜、杉田義昭, ピペリン酸  
エステル誘導体の構造活性相関: 腫瘍選択性とアポトーシス誘導, 第137回日本  
薬理学会関東部会、日本医科大学、東京, 2017,10
- 3) 坂上宏、増田宜子、友村美根子、横瀬敏志、友村明人、岩間聡一、中川美香、  
鈴木隼人、田中健大、阿部智之、大石洋平、田村暢章、竹島浩、鈴木龍一郎、  
白瀧義明、辻まゆみ、木内裕二、堀江憲夫、名取威徳、堀内美咲、勝呂まどか、  
大泉浩史、大泉高明, ササヘルスのアミロイドペプチド誘発性神経細胞傷害に  
対する保護作用, 第137回日本薬理学会関東部会、日本医科大学、東京, 2017,10
- 4) 植沢芳広、坂上宏、池添成彦、高尾浩一、加賀谷肇、杉田義昭, オーロン誘導体の  
定量的構造-細胞傷害性相関解析, 第137回日本薬理学会関東部会、日本医科大学、  
東京, 2017,10
- 5) 坂上宏、斎田 圭子、斎田 悟、八幡 由花紫、三間 修, イヌトウキのアミロイド  
ペプチド誘発性神経細胞傷害に対する保護作用, 第138回日本薬理学会関東部会、  
慶応義塾大学薬学部、東京, 2018,3
- 6) 坂上宏、友村美根子、友村明人、増田宜子、横瀬敏志、岩間聡一、中川美香、  
鈴木隼人、田中健大、阿部智之、大石洋平、田村暢章、竹島浩、安井利一、  
辻まゆみ、木内祐二、小口勝司、堀内美咲、藤澤知弘、勝呂まどか、大泉浩史、

大泉高明,ササヘルスによるホルメシスおよび神経細胞保護効果の誘導,第138回日本薬理学会関東部会、慶応義塾大学薬学部、東京,2018,3

- 7) 植沢芳広、高尾浩一、杉田義昭、加賀谷肇、奥平准之、坂上宏,フラノクロモン誘導体の定量的構造-細胞傷害性相関解析,第138回日本薬理学会関東部会、慶応義塾大学薬学部、東京,2018,3

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 友村美根子：骨代謝を正、負に制御する分子。生体機能分子生物研究会、鹿児島、2018,3

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 坂上宏（代表）：基盤研究(C) (16K11519)：新規 3-スチリルクロモン誘導体の口腔癌治療薬としての可能性に関する基礎研究、2016,4~2019,3
- 2) 田村暢章（代表）、坂上宏（分担）：基盤研究(C) (17K1205)水中運動による身体機能の改善と唾液老化マーカーへの影響、2017,4~2020,3
- 3) 友村美根子（代表）：基盤研究(C) (16K11487)：骨吸収と骨形成を相反的に制御するゲラニルゲラニオール作用の解明と骨粗鬆症への応用、2016,4~2019,3
- 4) 増田宜子（代表）：基盤研究(C) (17K11713)：レーザー照射による歯髄-血管・神経相互作用へ及ぼす影響の解明、2017,4~2020,3

##### 4. 受託研究費等

- 1) 坂上宏、丸善製薬株式会社、甘草抽出液の神経細胞の活性化および細胞保護作用を測定する実験系の検討。
- 2) 坂上宏、株式会社大和生物研究所、口内炎に対するクマ笹抽出物の作用機序に関する研究
- 3) 坂上宏、日本三晶製薬株式会社、松の実抽出物の各種抗ウイルス等に及ぼす影響の検討
- 4) 坂上宏、三生医薬株式会社、マスティック分画の口腔疾患の予防と治療への応用に関する研究、
- 5) 坂上宏、株式会社アピカ・コーポレーション、イヌトウキの薬理作用：イヌトウキの神経保護作用